

2021年12月1日



月刊 もぐら通信

2024年12月1日 第149号 第四版 <http://abekobosplace.blogspot.jp>

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる

あなたへ：
迷う事のない迷路を
あなただけの番地に届きます

電話
042-ABE-KOBO

FAX
042-KOBO-ABE



The Queen's Croquet Ground 2



Alice in Wonderland by S.. Dali

目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（33）：孤独より 其の六：安部公房.....page 28
- 4 『都市への回路』論（4）：岩田英哉.....page 29
- 5 『文章読本』論（11）：井上ひさし（2）：岩田英哉.....page 46
- 6 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（2）：岩田英哉.....page 48
- 7 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 8 ネット・モナド論（23）：7.4.6 催眠術とプロパガンダ：岩田英哉...page 33
- 9 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（29）：5.22 「日本列島位相史」の最新版を/5.23 神武天皇のやまとことばの名前の意味は何か/5.20
- 10 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史：岩田英哉...page 61
- 11 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉... page
- 11 編集後記...page 67
- 12 編集方針.....page 68



The best tweets of the month

Golden Mole
Prize

うん日@AYUtHmDiBWD6Spi·2h
フランスパン安部公房

Silver Mole
Prize

クンクン亭がんおじÆ@gentle_hobby·15h
(そのまま毒素を煮込んだ安部公房にのめり込むのだ…ひひひ)

Tangerineこー太郎Tangerine@Ko_you_t01·Dec 2
あと、安部公房

ムカデ@dtmfal_·Dec 3
安部公房しか勝たん

Seki@seki00138·Dec 2
糖質を制限して安部公房を吸収しろ

こおろぎ@tampak·Dec 3
ニシダ安部公房の壁持つてるやん

水綿@_Spirogyra_·Dec 1
Replying to
@kan_xxx_opi
マジで今日安部公房

ダダダ@yoshidada_da·Nov 28
Replying to
@misonत्या
and
@PCS_TL
安部公房が好きすぎて正直ダントツで行きたいシナリオなのでおゝ…つれてって……ほし
いです……………未来……

Muraji Takemura@TakemuraMuraji·Dec 4
安部公房だ…

垂水@moi1a·Dec 2

男のことを「棒」呼ばわりするの安部公房っぼくて良いよな

ランタン@lanthanum_party·Dec 3

安部公房大好き芸人やってほしい。

むてきのひとPile of pooポケユナガイジ@muteki_no_hito·Dec 1

回りくどい系文章の原点であり頂点じゃないかな安部公房

回りくどさに意味があるし、楽しい回りくどさだから

橙@strangeorange81·Nov 30

筒井康隆は気がついたら読み終えている感じ。

安部公房は途中で止まってしまうことがある。脳内で展開の処理が追いつかなくなると止まるw

今月のプッシー

田口綺麗@taguchikirei·Nov 28

絵描きに「○○の絵に似てますね！」というのは失礼だと聞いたことがあるのですが、私が物書きに「安部公房作品を読んでいる感覚になりました」と言う時は、黒人の旧友に「ヘイニガー。また焼けたんじゃないか？遠目に見たらうちのワイフのプッシーと見分けが付かなかったぜ」みたいな感覚です。

今月の終りし道の標べに

Sukeza@anykindoflove·Nov 28

安部公房「終わりし道の標べに」読了。これが処女作とは、なんたる驚嘆すべき筆力、想像力。啞然とするしかない。

今月の上演ポーランド祭りの安部公房

小野寺 未季(Miki Onodera)@mk_theater·Dec 2

Replying to @nmserendipity

まあたしかにプライベートの旅行だとなかなか選ばない国ですよ。笑でも良いとこでしたよ！

日本演劇祭inポーランドっていう企画で安部公房を上演しに行きましたSmiling face with open mouth and tightly-closed eyes

今月の電子化要求

うない@unainenai・Nov 28

Replying to @yaso_thomas

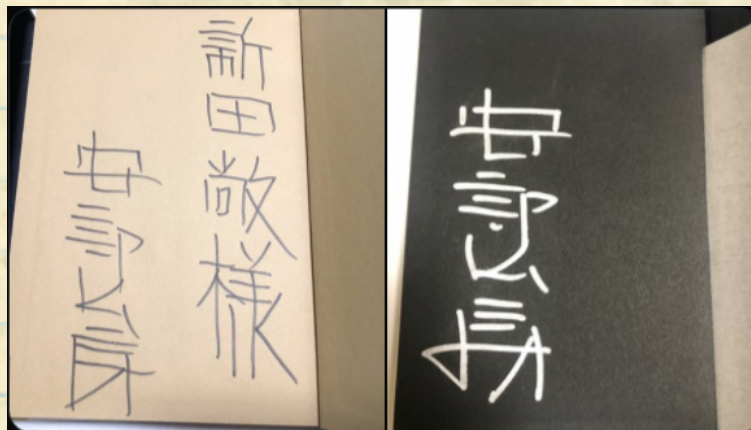
トマスさん激推ししてたの印象深かったです。ぐにやぐにやだから壁みたいなかんじなのかな～。楽しみです!!!!

(安部公房 電子書籍化してほしい)

今月の安部公房のサイン

彗星C大爆発@bar_biturates・Nov 30

安部公房のサイン色々あるけど、俺が見たやつは左のすべってるサインです



今月の箱男

本ノ猪@honnoinosisi555・19m

「人々が、なんとか他人の視線に耐えて生きていけるのは、人間の眼の不正確さと、錯覚に期待するからなのだ。なるべく似たような衣裳をつけ、似たような髪型にして、他人と見分けがつきにくいように工夫したりする。」(安部公房『箱男』新潮文庫、P117)

夜野ムクロジ(アニメ映画が完成！公開中なので見てね)@bad_trip_muk・Nov 26
安部公房の「箱男」がまだ半分しか読んでない、とつぶやいたら「半分も読めるなんてすごいじゃん」と言ってくれた人がいて、やさし～って思った。いつか全部読みたい。



ユリイカFried shrimp@TARS1225・Dec 1

大学1回生の時、憲法の授業で段ボールを身に纏ってやってくる人がいたが、彼は箱男だったのだろうか…当時は世の中には変わった人もいたもんだとしか思わなかったけど。

友達もストーリーとしては分かるけど、何でこんなことを思いついたのか不思議だった安部公房の思考の発露が謎すぎて面白い…

ふにや Izakaya lanternClinking beer mugs 酒上不埒Flag of Japan

@Rocky20011001・Dec 4

Replying to @56iwMqX7mTI2rCE

雑感です。樽男さんをお見掛けすると安部公房の箱男を思い出してしまいます。失礼しました。

crymié03@mimi17031・Nov 27

安部公房の「箱男」読みたくなる

今月の壁

苦い生活@kouumaretahito・Dec 2

…見渡すかぎりのこうやです。。そのなかで僕は静かに果てしなく成長してゆく壁なのです。。

(安部公房)

皆様、おやすみなさい。



雪@yuki3kakkokari・Nov 30

壁/安部公房

#読書 #読了 #読書記録

第一部は正直分からなさすぎて全く指が進まず。あまり考えずに文字を追う事にしてなんとか読了。第三部はかなり好き。特に洪水と魔法のチョークが良かった。分からないし読みにくいけど結構好きかも。読むのを止めたいけど止められない不思議な本でした。

今月のカメラ

DJ Pepe@Coney_Island_NY・Dec 2

チェコに惹かれたきっかけはクンデラの『冗談』でした。安部公房を通じてカフカを読んだのはそれより何年か後だったように記憶しています。プラハを訪れるなら『カフカのプラハ』は絶好のガイドブックです。きっとまたこの本を片手にあの時と同じこのカメラと一緒にプラハを散歩したい！！





今月の結婚詐欺

眞子内親王は『方舟さくら丸』を読むべきでした。今からでも遅くはない。日本帝国の未来のために、これからは皇室に限らず、雲の上のやんごとなき方達には例外なく、国家安全保障のために安部公房を読んでほしい。あつ、それと第四間氷期を是非。この二冊は雲上人必読書としてほしい。感想文をお書きくださった場合には、恐れ多くももぐら通信に掲載を被下度御願申上候。

(以上編集部)

音隅 管譜@otonezumi-2h

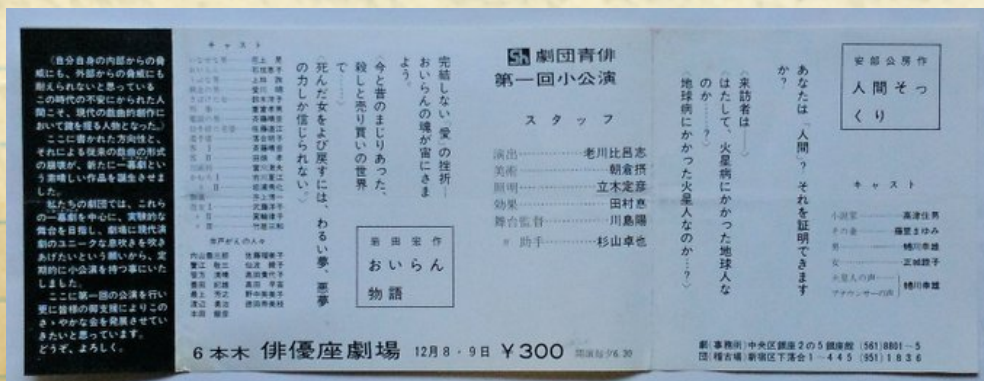
「違うんだな。男が結婚詐欺をするときは、医者だとか、地主の息子だとか、会社の役員だとか、職業や財産を餌にするでしょう。でも女の餌は、女じゃない。ぜったい損だと思ふ。職業を聞かれて、ただ男って答える男はいないけど、女は、ただの女で通用しちゃうんだな」 -安部公房『方舟さくら丸』

(編集部：小室何某は女性を口説くために『方舟さくら丸』を読んだに違ひない。地獄へ墮ちるがいい！GO TO HELL!!)

今月の人間そっくり

ホッタタカシ@t_hotta-Dec 3

1964年に劇団青俳で上演された、安部公房『人間そっくり』のチラシ。火星の男は蜷川幸雄。小説版(1967)の前だから、テレビドラマ版の脚本を元にしたのだろうね。



今月の近藤一也

Toshimi Yoshida@NeverGirls・Nov 28

矢萩喜従郎展@神奈川県立近代美術館 葉山 初日。矢萩さんに会えて駅までのバス内でお話、図録にサインをいただきました。1983年ごろの最初期のポスターから私淑し目撃してきましたが、その思索と制作の全貌が初めて展覧されてまさに圧巻。安部公房全集の装丁で知られる近藤一弥さんの師匠でもあり。



今月のNHKアーカイブ

川田十夢@cmrr_xxx・Nov 27

好きなドキュメンタリー。あの人に会いたい。800本を越える人間アーカイブが無料で観れる。好きな回は、岡本太郎、寺山修司、開高健、藤子・F・不二雄、安部公房、安野光雅、粟津潔、立花隆、大林宣彦、梅原猛、かこさとし、山内溥、伊丹十三、中島らも、赤塚不二夫、森毅。

<https://nhk.or.jp/archives/people/>

今月の感想文

山坂権@atk27kan・16h

【終りし道の標べに (新潮文庫 あ 4-11)/安部 公房】を読んだ本に追加 → <https://bookmeter.com/books/543082> #bookmeter

Seiastro@seiastro・Dec 4

なんか記事の安部公房の人气が高くてうれしい
魚座です

ホロスコープ見てみた・安部公房 | Seiastro #note

<https://note.com/seitaro2046/n/n58cd812fed65>

kamome@kamome・Nov 28

鳥取砂丘は“草生えとる”という印象だったが『砂の女』をみた後ならまた印象変わるかもな

<https://kamomelog.exblog.jp/32078841/>

東雲@4NonomE2・Dec 2

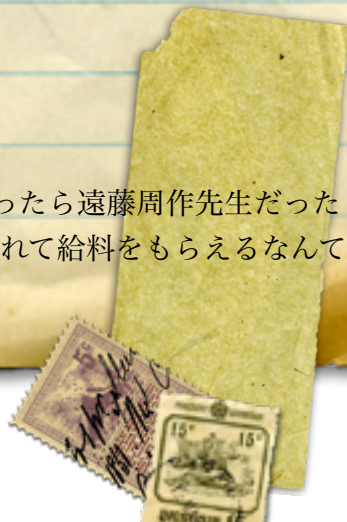
【水申都市・デンドロカカリヤ (新潮文庫)/安部 公房】を読みたい本に追加 → <https://bookmeter.com/books/577057> #bookmeter

今月の新潮社編集者

ホッタタカシ@t_hotta・Nov 28

>あと、いきなりロビーに安部公房先生がいたり、電話をとったら遠藤周作先生だったり。本をずっと読んできた身としては、こんなスターに囲まれて給料をもらえるなんて、夢みたいな仕事につけたと思いましたね。

Quote Tweet



リアルサウンド ブック@realsound_b・Nov 27

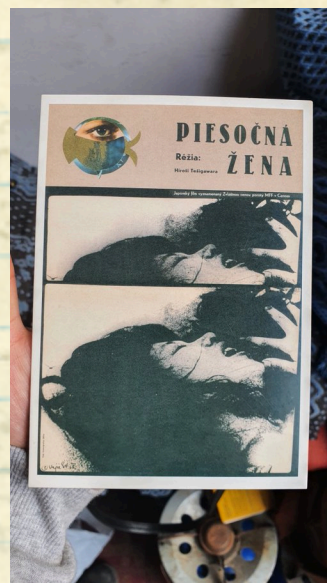
【編集者インタビュー】新潮社の中瀬ゆかり氏に編集者という仕事の醍醐味をたっぷり
と語っていただきました。大物作家とのエピソードや深みのある至言が満載のインタ
ビューです。

<https://realsound.jp/book/2021/11/post-911528.html>

今月のスロバキア語版砂の女

宇宙のペロニカSushiMicrophone@verodesu・Nov 29

ジョージアにあるuzu houseにて安部公房の砂の女の
スロバキア語版チラシを発見。謎だけど謎におもしろい。



今月の日本語の砂の女

zzzsan@zzzsan99・21h

息子氏の国語の問題にアリジゴクの話が出てきたので、
つい「砂の女」の話をしたら「こうぼうって何か作る
ところでしょ。安倍（元）総理がなんか作ってるの？」と言われた。#安部公房

堅洲 斗支夜/Toshiya Kadas@kadas_blue・Nov 29

今更ですが安部公房の『砂の女』を読み返してるんですけど、これ普通に『小説を書こ
う』って考えてて降りてくるような話じゃないよなあと。

採点@saiten_ooo・Dec 3

大学のイブニングコースで7年も教えた生徒が、本日、映画上映前に舞台上がって解説
をする。ひらがなから教えたので感慨深い。映画は安部公房と勅使河原宏の「砂の
女」。 [https://whatson.bfi.org.uk/Online/](https://whatson.bfi.org.uk/Online/default.asp?doWork::WScontent::loadArticle=Load&BOparam::WScontent::loadArticle::article_id=E2444CDA-CCF3-4A6C-9115-E516C1D86878&BOparam::WScontent::loadArticle::context_id=0F9BD154-07E3-4E6F-B626-A6644F74EF12)

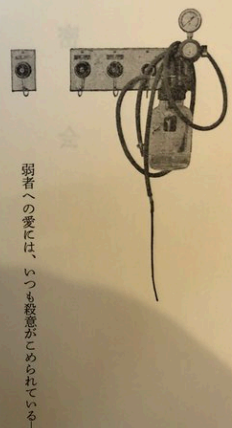
[default.asp?doWork::WScontent::loadArticle=Load&BOparam::WScontent::loadArti
cle::article_id=E2444CDA-CCF3-4A6C-9115-
E516C1D86878&BOparam::WScontent::loadArticle::context_id=0F9BD154-07E3-
4E6F-B626-A6644F74EF12](https://whatson.bfi.org.uk/Online/default.asp?doWork::WScontent::loadArticle=Load&BOparam::WScontent::loadArticle::article_id=E2444CDA-CCF3-4A6C-9115-E516C1D86878&BOparam::WScontent::loadArticle::context_id=0F9BD154-07E3-4E6F-B626-A6644F74EF12)

今月の密会

頭がてんぐさ@ourzearth・Nov 27

つまりちいかわってことか
(安部公房「密会」より)





arida@Magnoliarida・Nov 29

安部公房の「密会」って舞台化されたことあるのかな〜。

柚木@s_yzk・5h

安部公房の『密会』は読んだことなかったけど「綿ふき病の綿から布団を作る話」ってのがなんかすごい安部公房

今月の飢餓同盟

いそがいはじめ@ISOGAI_1・Nov 28

よみた屋と古本のんきをパトロールしてから『YOUCHAN個展「本を巡る冒険2」古本タワー再び』@ギャラリーshell102に行ってきました。ポストカードと安部公房を購入。



今月の略歴

akibullbear@akibullbear・Nov 29

病院の待合室に置いてある安部公房。この略歴に添えられた文が刺さった。

「定着を価値づける、あらゆるものが、ぼくを傷つける。」

今月の典型的な読者

Yoshihiro Ishii@YoshihiroIshii1・Nov 30

マルクス・ガブリエル新実存主義読了、まあ哲学的淀みみたいなものだね、はるかにそれを超えた実存主義者の安部公房の方が先に行ってるね

漂識@HydroYourSeason・Nov 27

今日は母に「当たり前」という言葉の居心地の悪さを知らしめるために、安部公房の赤い繭を読ませた上で、無限大は数ではないという話、平行線公準の話、デザルグの無限遠点、射影幾何の概念が受け入れられなかった歴史を地動説と類比させた話、球面上の幾何の話、無限大を数として扱う話、などをした

略年譜

昭和二十年(一九五二)二八歳
『闘入』未来社刊。『餓えた皮膚』ユリイカ社刊。

昭和十九年(一九五四)三〇歳
『飢餓同盟』講談社刊。シナリオ『壁あつき部屋』(松竹)

昭和二十年(一九五五)三二歳
戯曲集『制服・どれい狩り・快速船』青木書店刊。

昭和二十一年(一九五六)三三歳
『Rの発明』山内書店刊。

昭和二十二年(一九五七)三四歳
『東歌を行く』講談社刊。『けものたちは故郷をめざす』講談社刊。評論集『延髄の心に計算器の手を』平凡社刊。

昭和二十三年(一九五八)三四歳
『第四水期』講談社刊。戯曲『幽霊はどこに』新潮社刊。

昭和二十六年(一九五二)二七歳
『壁』月曜書房刊。

昭和二十七年(一九五二)二八歳
『闘入』未来社刊。『餓えた皮膚』ユリイカ社刊。

昭和十九年(一九五四)三〇歳
『飢餓同盟』講談社刊。シナリオ『壁あつき部屋』(松竹)

昭和二十年(一九五五)三二歳
戯曲集『制服・どれい狩り・快速船』青木書店刊。

昭和二十一年(一九五六)三三歳
『Rの発明』山内書店刊。

昭和二十二年(一九五七)三四歳
『東歌を行く』講談社刊。『けものたちは故郷をめざす』講談社刊。評論集『延髄の心に計算器の手を』平凡社刊。

昭和二十三年(一九五八)三四歳
『第四水期』講談社刊。戯曲『幽霊はどこに』新潮社刊。



漂識@HydroYourSeason・Nov 28

今日はリルケの「ほとんどあらゆるものが」の個人的解釈や、安部公房の「赤い繭」への相似変換、「安部公房、手塚治虫、太宰治、芥川龍之介」の四者間の類似点、相違点について語りました

この流れで安部公房の「他人の顔」のあらすじを話したらウケが良かったので、飲み会のネタにでも使ってください

謳@原稿@UTA200354・17h

芥川の魔術とか井伏鱒二の山椒魚とか、安部公房の赤い繭とか棒とか好き
気味が悪い終わり方するやつ好き

橙@strangeorange81・Nov 30

筒井康隆は気がついたら読み終えている感じ。

安部公房は途中で止まってしまうことがある。脳内で展開の処理が追いつかなくなると止まるw

おもむけ@orosi_nimo・Nov 27

何を隠そう中学時代の私は中期安部公房の文体を真似てノートにボールペンでアフォリズムを書いていたんだからな。クソ痛え。結局人に見られたし。

うろ@bicycle08・20h

そういえば、安部公房の壁って本を前の旅で持っていったのだけど、いつの間にやら懐からいなくなっていたなあ……というのをふと思い出した。

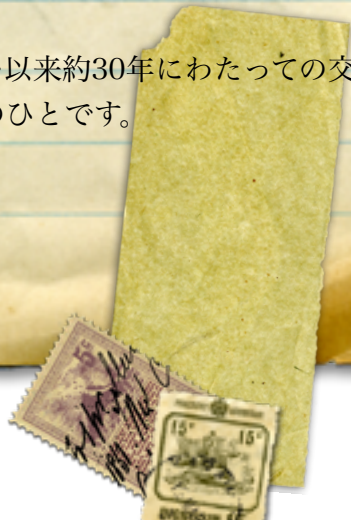
RiCrescent moon@nonnae_・16h

ニシダさんの本棚わたしかと思うくらいラインナップ似すぎててびっくりした、漱石も太宰も安部公房もだいすきOpen book 内田百閒ピックアップもいい〜わたしは寺田寅彦がすき

中林20系 (Nakabayashi)@tabibitokabaei・Nov 28

お互い安部公房ファンで、このあとはその話題で話が弾み…以来約30年にわたっての交流、と。ブログなどに登場する“川崎の親友”というのがこのひとです。

万人向きじゃないですが安部公房、面白いですよ。



田口綺麗@taguchikirei・Nov 28

高校の現国の教科書に、安部公房のなんかが載ってて、不気味なのに何故か惹かれて、他の本も買って読んだんですが、一体どんな生き方したら、あんなワケわからないのに、読み出すと止まらない文章が書けるんでしょう。

月面雑貨@ofuton_studies・Nov 26

Replying to @yuyon_yuyayuyon

よくよく考えると、宮沢賢治、安部公房、梶井基次郎などは好きなので傾向がありそうです。人間と世界との関係が特殊なものに惹かれるのかもしれませんが。ドストエフスキー、カフカ、プルースト、ベケット、レム、ガルシア＝マルケス、ジョイス、ピンチョンあたりは例外の気配を感じますね。

しぐま@KudoSig・Dec 4

Replying to @book_box__

安部公房の比喻は本当にすばらしい

今月の反文化大革命声明

ka-tayama@fusyo2633・Dec 3

“三島は自決3年前の昭和42年2月28日、作家仲間の川端康成（翌年ノーベル文学賞受賞）、石川淳、安部公房を誘って帝国ホテルで会見し、自ら起草した抗議のアピールを発表した”

今月の安部公房全集第30巻

中林20系 (Nakabayashi)@tabibitokabaei・Nov 28

これがその、最終巻『030+』発刊の日。第1巻から12年かかっただけの完結！しかもCD-ROM付き。そのCD-ROMには【館外貸出不可】の文字が！やっぱ図書館向けだったんかい！

遂に完結！『安部公房全集』全30巻（泣）

<http://satemesi.seesaa.net/article/388320400.html>

今月のブレッソン

とみこ@tomy_links・Dec 1

バーリンクスの宙空本棚、仕上がってきたな
太宰治、三島由紀夫、川端康成、筒井康隆、坂口安吾、
安部公房、詩集各種、まあいろいろさ



イチオシは左上アンリ・カルティエ・ブレッソンの写真集。本当に美しいスナップ写真たちなんだ。みんな見てくれ



今月のイチモツ

大島育宙 (XXCLUB/コンテンツ全部見東大生) @zyasuoki・Nov 30

朝起きたらイチモツがなくなっていた…金と名誉に生きてきたベンチャー社長が「男性自身」を取り戻そうと奮闘するロードムービー #ポプラン を試写で拝見。上田慎一郎監督らしい笑いもありながら「現代における男性性とは？」を問う堂々たる社会批評映画。カフカや安部公房が好きな人に激推しします。

今月の友達

32期 盛組『AMIGOS FOREVER』

@morigumi32・Nov 29

お待たせしました!!Raising hands

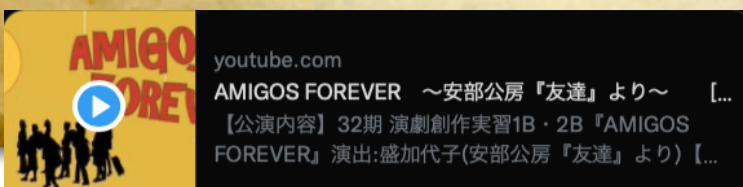
盛組『AMIGOS FOREVER』の宣伝映像(Aキャストver)が公開されましたClapping hands sign Clapping hands sign 皆さん、ぜひたくさん見てくださいEyes

AMIGOS FOREVER ~安部公房『友達』より~

[近畿大学舞台芸術専攻32期 盛組演劇実習公演 宣伝映像 (A cast ver.)]

<https://youtu.be/osPVMPreTg0>

@YouTubeより



めぐみ@tetemi_memami・Dec 1

告知ばかりでごめんなさいFolded hands

稽古頑張ってる舞台、まだまだ予約空いてます！もちろん無料です！！

12月9日(木)18:30～

12月11日(土)13:00～

12月12日(日)11:00～

※主にBキャスト次女役で出演

とち狂ったカオス喜劇☆ちょっとだけ歌うヨ♪

今月の他人の顔

青津夏@読書垢@shikaku_books・Dec 1

#読了

「他人の顔」安部公房

5年前に読んだ時は難しくて何が何だかサッパリ分からなかった作品に再挑戦。

改めて読むと、主人公の孤独に対する思想などが何となく共感できる部分もあり、難解な作品耐性もついて、5年前よりは楽しく読めたと思う。やっぱり安部公房作品は2周目の方が楽しめるな。

今月の夜の会

椎名 由太佳@shiinayutaka777・Nov 29

夜の会か！

1948年、昭和23年。

タイムマシンに乗って、

行きたいな～！

傍観者でいい話を聞きたい。

埴谷雄高、安部公房

椎名麟三、岡本太郎ら数人。

三島由紀夫もたまに参加してらしい。

日本の知性が最頂点の時。



今月のピンク・フロイド

えぬ・かるま氏の散財の大好物@kobo_spitz_2487

・Nov 28

安部公房の『カンガルー・ノート』で知ってピンク・フロイドにハマったから洋楽体験の原点は安部公房だな

Quote Tweet

えぬ・かるま氏の散財の大好物

@kobo_spitz_2487

・Nov 28

自分の洋楽体験の原点はピンク・フロイド

今月のサイン本

彗星C大爆発@bar_biturates・Nov 30

お店に安部公房のサイン本が8000円で置いてあって、「安部公房ってサインとか書かないで欲しい」「っていうかこれ本当に安部公房のサインなのか？」と疑念が渦巻くなか帰ったものの一週間後「やっぱり安部公房のサイン本欲しい」と1万円持って店に行ったら無くなってました

今月の公然の秘密

1996@_1996・Dec 1

キュートアグレッションの例として安部公房の『公然の秘密』を出しまね

今月の古本屋

奈良の古本屋 フジケイ堂 もちいどの店

@fujikeido.22h

「死に急ぐ鯨たち」ヤフオクに出しました(´▽`)

興味のある方、ぜひご覧ください。(*^_^*)

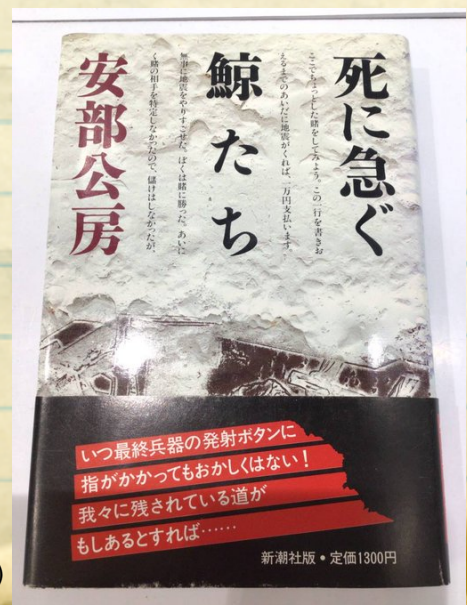
#古本 #古書 #書籍 #本 #送料無料 #安部公房 #文学
#文芸 #エッセイ #純文学 #日本文学 #社会 #新潮社
#対談 #国 #昭和 #ヤフオク #ヤフオク出品中

今月のカンガルー・ノート

混沌@eroi_writer・Dec 2

私ラッキーやな(๑!ω!๑)

繰り返し読んだ本、少なくとも3冊はあるで(๑!ω!๑)



梶井基次郎の檸檬が入った短編集
椎名誠の武装島田倉庫
安部公房のカンガルーノート
Quote Tweet

猫ミヤ@乱読

@neko00912 · Dec 2

大切なのは読んだ本の数じゃなくて、繰り返して読みたい本に出会えたかどうかです。
繰り返して読みたい本が一冊でもあればそれは100冊読んだこと以上に価値があると思います。

今月のシュールリアリズム

手島曜(ヨウ手嶋)@VxNJVfO6zbooQCp·Dec 3

今思い出した。シュールリアリズムだ。アンダルシアの犬とガリガリ博士とか？安部公房とかフェリーニとか。うん、全部演劇じゃねえ

今月の第四間氷期

むてきのひとPile of pooポケユナガイジ@muteki_no_hito·Dec 1

安部公房おもろいよなあ

卓越したアイデアを難解というか博覧強記的だけど精緻な文章でまとめあげてるから好き

第四間氷期が好きだね

今月の写真

天平人@kouzo_miyagi·14h

安いやつですが、フィルムカメラを買いました。何を撮ろうか考えているなかで、先人の写真作品を見漁っていると、安部公房に行き当たりました。

小説同様に前衛的でございました。

今月のトポロジー

永澤 護 Nagasawa Mamoru

@XlGjfmYpCchopJ6·Nov 30

クリプケンシュタインは安部公房が遥かにエレガントなスタイルで先取りしていた。トポロジカルカープの循環世界。#現代思想 #philosophy #哲学

<https://note.com/dharmazeroalpha/n/n817b1a71849e>



今月の良識派

赤川 凌我@MaekawaRyg・Nov 28

そういや僕は昔高校の現代文の教科書に載っていた安部公房の良識派という社会風刺的な皮肉的な文章にえらく感動したな。とにかく良い文章があったのを今でも鮮明に想起出来る。鶏が主人公の自然主義文体で書かれた作品で僕はこれを中島敦の山月記や芥川龍之介の羅生門、梶井基次郎の檸檬より愛好した。

今月の山口果林

師匠@頼むから俺をミュートしろ@sisho_G8f・3m

先生が話されていたジャックジャンヌキャラクターモチーフまとめ

カイさん→オペラ座の怪人

フレさん→サロメ

白田くん→菊千代抄

スズくん→ロミオとジュリエット

創ちゃん→身毒丸

根地くん→とある女優の手記(予測は女優・山口果林著『安部公房とわたし』)

Quote Tweet

師匠@頼むから俺をミュートしろ@sisho_G8f・11h

根地黒門、まさか……山口果林『安部公房とわたし』では？

私の勝手な予測に過ぎないが。



「君は、
僕の足もとを
照らしてくれる
光なんだ――」

その作家は、
夫人と別居して
女優との生活を選んだ。
没後20年、
初めて明かされる
文豪の「愛と死」。
講談社

安部公房と
わたし
山口果林

今月のカフカ

しゅら Q Wine glass酒乱Q@cynilogi・Dec 3

調べたら作者の安部公房はカフカの影響を受けてるみたい。

俺の感性は間違っていなかった。終始べったりとした不快感がへばりついている感じが気持ち悪い。

Quote Tweet

しゅら Q Wine glass酒乱Q@cynilogi・Dec 3

砂の女まもなく読了

カフカ味を感じるのは俺だけ？

デ＝ラ＝ムネン@DeLa_MuNeN・Nov 30

カフカや安部公房が今の日本を眺めたらどんな小説書くのかな



今月のナンセンス文学

原稿中@0_shibori・Dec 2

ナンセンス文学、ぱっと思いつくものだと安部公房とかかな……

今月の安部公房論

雑学系論文bot@kumagaikazuhimi・Nov 29

安部公房論 <http://ci.nii.ac.jp/naid/110007025818...> #文学

<https://ci.nii.ac.jp/naid/110007025818>

今月の埴谷雄高

過去の党史隠蔽できぬ日本共産党 | オピニオンの「ビューポイント」

オピニオンの「ビューポイント」

昭和6年に日本共産党に入党し、戦後は評論家として活躍した埴谷雄高は『埴谷雄高政治論集』（講談社文芸文庫）のなかで、黨員時代の体験を次のように語って…

<https://vpoint.jp/opinion/viewpoint/214451.html>

今月の第四間氷期

秋田魁新報

「人間のエネルギー消費の増大による炭酸ガスの増加」が天候異変にも関係一。安部公房さんの長編SF「第四間氷期」の一節だ。物語は海底火山の活動による海面上昇という大変動が軸となるが、雑誌連載が1958~59年だったことを思えばその先見性に驚かされる

▼データを入れると未来予測する「予言機械」も登場する。コンピューターが電子計算機と呼ばれた時代に、現代のスーパーコンピューターのような機器が描かれているのは興味深い(略)」(北斗星(10月7日付)

<https://www.sakigake.jp/news/article/20211007AK0013/>

2022年1月9日（日）の読書会のための資料

もぐら通信

1. 酒を読みながら行ふので、読書会でありながら、古代ギリシャの世界と同じで、実はこれはシンポジウムといふべき寄り合ひです。

2. 日本語でいふ寄り合ひは、大体定刻通りに人は皆揃はずに、遅れてきていつの間にか始まり、議論してゐるのか雑談してゐるのかわからぬうちに衆議一決して集まりが終はり、終はつたら酒盛りが始まつて実は酒を飲んで酔つ払った二次会（神道では直会（なほらひ）といふ）で重要事項がどんどん決まつてしまふといふのが、私たち日本人の集まつて行はれる日本式シンポジウムです。田舎にお住まいの方はよくお分かりでせう。同じことを私は東京といふ都会でもサラリーマン生活の中で経験しましたので、イギリス人が議会でやつてゐるやうなあんな芝居じみた対立する弁論はできないし（これは役者の仕事である）、する必要はないのであるし、またアメリカの議会でやつてゐるやうな罪と罰の追求の世界は、私たちの寄り合いには無縁なのであります。とはいへ、安部公房は『S・カルマ氏の犯罪』に始まつて、罪と罰と裁判の話をつつと最後まで書き続けたわけでありまして、私たち読者は日本人と致しましては相当に変な人間たちだといふ自覚をしておいた方が身の安全を図るために必要かも知れません。箱男は世間から排除されるのが其の運命だからです。「罰がなければ、逃げるたのしみもない」（『砂の女』のエピグラフ）「弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる」からです（いふまでもなく『密会』のエピグラフ）

前置きはこれ位にして以下シンポジウムのための司会者からの座標軸を下記に列挙して並べます。いふまでもなく論文『問題下降に依る肯定の批判』によつて18歳にして早くも「一体座標なくして判断は有り得ないものだろうか。これこそ雲間より漏れ来る一条の光なのである。」といふ問題設定をして、これを肯定した安部公房ですから、私の座標軸も儂いものとお考へ下さい。単なる参考情報に過ぎません。まあ、この資料は全然あなたの《案内人》にはならないといふわけです。雲間一条光漏洩の読書会としたい。殺意に溢れた愛情を一身に受けるのは、あなたです。私ではありません。《死刑執行人に罪はない》（『箱男』最後から7番目の章）

とはいへ、とりあへず、当日はこれを軸に司会を進めますが、もう一つの理由から無視して進めることも十二分にあり得ます。といひますのは、司会者が喋り過ぎると此れは問題ですから、私はなるだけ控えめにしてみ、ご出席の読者の方たちの発言を誘ふ役割を演じたいと思つてゐるからです。さうでなければ、司会者の能力以上の議論になりま

せんので場所 (topos) の無駄使ひです。さうではなく、私たち読者に新しい冒険と新しい発見のあることを、このシンポジウムは期待してゐます。シンポジウムを、日本のギリシャ哲学研究者たちは「饗宴」と訳しました。

追伸：当日は新潮文庫版『内なる境界 都市への回路』がお手元にあるとありがたい。といひますのは、「都市への回路」の最初のインタビューが『密会』について安部公房自身による解説となつてゐるからです。

1. 安部公房の小説観：小説の目的 [モデルとしての小説]

二十歳の安部公房は、『没落の書』（1944年11月21日）の中で、次のやうに書いてゐます。十八歳の論文『問題下降に依る肯定の批判』と同じで、アンドレ・ブルトンならば『シュールレアリスム宣言』に相当する宣言書といふことのできる『没落の書』といふ安部公房自身の小説に関する小説観についての文章です。

「私は唯一の解決者たる宿命を拒みはしない。私は自分が他愛の義務を、自分の詩魂の内に感ずる事を人々の為に祝福する。私は総てを展開しよう。だが常に注意し給え。解決は言葉の最後にのみ与えられるものではない。君たちは書き出す人でなければならぬ。私は単に暗示者だ。絵具と構図は君たちに任せる。私はモデルを象徴しよう。それは先ず以下書き述べる概念の古塔だ。

すぐれた頭脳の所有者である君達は、次の象徴詩で総てを理解するであろうけれども、尚も論理的解決を望む特殊の人々の為に、別に私自身でも一つ絵を書き上げて見よう。

[註] それも恐らく新世紀の存在論として、重要な思想的価値を有する事になるであろうけれども、今此処では述べたくも無いし、又其の必要も認めない。私はむしろ此の古塔の詩の方を愛する。

[註]

存在論的現象批判、並びにその構造」（全集第1巻、141ページ上段）（傍線筆者）

と言つてから、「概念の古塔」といふ散文詩が書かれてゐます。この詩の御一読をお薦めします。

私が『没落の書』から引用して、その趣旨をまとめると、次の通りです。

(1) 安部公房は小説をモデル（模型）として製作したのだといふこと。（これが、普通の作家とは異なる、安部公房の小説の一大特徴）

(2) このモデルは象徴的なモデルであつて、これを読者に提示するので、あとは読者よ、あなたの人生を描く構図と絵の具の選択は、君たちに任せる、自分固有の人生を生きよといふこと。自分の人生は自分の白紙のキャンバス（画布）に自分で描いてくれ。それが生きる事だ。と、安部公房の小説は、さう云つてゐる。それ故に、安部公房はいつも存在への立て札を立てる。

(3) 安部公房のどの作品も、安部公房の「詩魂の内に感ずる事を人々の為に祝福する」、そのために書かれてゐること。（安部公房は、この精神をリルケに学んだ）

(4) このモデルは、存在論的現象批判によるものであり、その作品構造もまた、さうであること（これが安部公房の「新象徴主義哲学」、即ち汎神論的存在論）。22歳の論文『詩と詩人（意識と無意識）』に此の事は詳しい

このやうな、安部公房の志を読みますと、安部公房の読者であるといふことは、幸せなことであり、私たちは稀有な読者であることなのだと思います。こんなことを嘗て考へた言語の藝術家はゐないし、読者もゐない。これが、安部公房の読者がSFの読者と重複してゐることの理由であり、両方の文学に偏見なく自由に往来する私たちだといふことになります。

存在の方向へと生きるためのモデルを掲げることを「板を掲げる」と安部公房は次のやうに言つてゐます：

「だが実は地球に於いて人類の歴史が始まって以来、高く新しき板を掲げたニイチェがやっと百歩進んだのに過ぎないのだ。ドストエフスキイは幾度も立上つたが二三步毎に息切れがした。」

（『問題下降に依る肯定の批判』全集第1巻、15ページ下段）（傍線は原文傍点）

2。「終りし道の標べに」安部公房はいつも立つて小説を書いてゐる

(1) 初めが終わりであり、終わりが初めであるメビウスの環の世界

(2) 亡くなつた親友金山時夫への哀惜と鎮魂の感情がいつも底に流れてゐる

(3) 劇場の幕の上がる前にいつも芝居は終はつてゐる。《開幕五分前》に存在してゐる此れは読書会である（『箱男』の最後から二番目の章の題名）

3. 安部公房の超越論：汎神論的存在論（この寄り合ひ読書会のこと。存在の饗宴としたい）

4. 存在への案内人

- (1) 『密会』の場合は、この案内人の役は主人公の誘拐されて失踪した妻
- (2) 主人公はレポーター・報告者

5. 仮説設定の文学：SF文学

附録：安部公房の小説論総覧：（安部公房全集より）

4つには便宜上分けてありますが、お互ひに相互参照的（referencial）であることはいふまでもありません。青字のものは、安部公房の小説論としては最初に読むと其の考への全体が書かれてゐて安部公房の小説観への良い入り口になると思ふものです。

I 物語は、時間の空間化であるといふ安部公房の小説観

時間の空間化、即ち函数化といふ小説観はこのまま安部公房の演劇観であり、これを演技論に問題下降したものが、安部公房スタジオの演技論の中核概念「ニュートラル」である。

- 1. 『歴史を棄てるべき時』：全集第25巻、392ページ：
武満徹との対談にこのことが出てくる。それから、プロットの強固さについて：ポーから学んだことが。
- 2. 安部公房氏（散文精神）：全集第28巻、298ページ
- 3. 『賭け』という小説がある：全集第11巻、305ページ
- 4. 『作品が命じる』：全集第19巻、21ページ
- 5. 『作品の側に主導権（私の小説作法）』：全集第19巻、21ページ
- 6. 『抽象的小説の問題』：全集第7巻、154ページ
- 7. 『何を書きたいか』：全集第4巻、348ページ
- 8. 『なぜ書くか』：全集第28巻、69ページ
- 9. 『生の言葉』：全集第1巻、481ページ
- 10. 物語とは：第23巻、111ページ
- 11. わが作品を語る：第30巻、174ページ

12. わが小説（「第四間氷期」）：第15巻、436ページ

13. わが文学の揺籃期：第23巻、24ページ

やはり1970年には、前期20年を振り返ったということ、この題名は意味している。

14. わたしの小説観：第4巻、282ページ

15. わたしの小説作法：第19巻、21ページ

16. わたしの文章：第5巻、343ページ

17. 周辺飛行1：物語とは（全集第25巻、111ページ）

「物語とは、因果律によって世界を梱包してみせる思考のゲームである。現在というこの瞬間を、過去の結果と考え、未来の原因とみなすことで、その重みを歴史の中に分散し、かろうじて現在に耐え、切り抜けていくための生活技術としての物語。」

18. 私の文学観 演劇観：全集第23巻、350ページ

19. 『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ

20. 全集第23巻、109ページ：夢化作用—第13回女流新人賞選評。ここに積算の文学についての自分の創作方法のわかりやすい説明がある。これを活用すること。

21. 『散文精神』：全集28巻、298ページ

22. 『小説の書き方』：全集第4巻、492ページ

23. 『小説の好悪像と書き方（二）』：全集第4巻、492ページ

24. 『小説の秘密』：全集第27巻、54ページ

25. 『小説は考えて』：全集第25巻、537ページ

26. 『小説は無限の情報を盛る器』：全集第28巻、49ページ

27. 『小説を生む発想』：全集第23巻、337ページ

28. 『ストーリー主義の克服』：全集20巻、136ページ

29. 『ストーリーという罫』：全集第8巻、141ページ

30. 『「砂の女」と小説作法』：全集第19巻、207ページ

31. 『創造のプロセスを語る』：全集27巻、29ページ

32. 『創造のモメント』：全集第2巻、98ページ

33. 『誰のために小説を書くか』：全集第2巻、375ページ

34. 『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ

35. 『一寸後は闇』：全集第23巻、24ページ：私小説を書かない理由を3つ挙げてある。これは短いが重要なエッセイ。ポーのことが書いてある（理由の2）。また理由の1は作品が函数であること、作者はその変数であることが述べられている。

II 仮説設定の文学とSF文学論：自分の仮説設定の文学の淵源をポーに求めてみる

1. 私の文学を語る：全集第22巻、42ページ上段

子供のころから文章を書くのが好きだったという発言がある。小学生のころ作り話をし
て先生に盗作の疑いをかけられて叱られたこと。そうして、中学二年頃に、ポーに熱中
したことが発言されている。

このインタビューは、この前後も非常に重要な安部公房の発言を含んでいる。

2. 私の創作ノート：全集20巻、162ページ

3. 『仮説の文学』：全集第15巻、237ページ

4. 『仮説・冬眠型結晶模様』：全集第7巻、77ページ

5. 『空想科学小説について』：全集第15巻、237ページ

6. 『空想科学小説の型』：全集第8巻、252ページ

7. 『空想的リアリズム』：全集第7巻、50ページ

8. 『ぼくのSF観』：全集17巻、288ページ

9. 「SFの流行について」（全集第16巻、376ページ）

III 小説の構造と言語の構造

安部公房が考へてゐたのは、言語構造と作品構造の一致である。作品構造がそのまま言
語構造である小説を書かうとした。以下、これに関する当該箇所を。

1. <安部公房氏語る>：第29巻、194ページ

『長編書き下ろし（仮題「飛ぶ男」）やってて、ひどい病気して。で、入院してる間に、
ちょっと焦ったんじゃないか。あんまり長いこと書いていないこともあるし。それで向
こう側から、あるものが見えてきたんだよ。』

2. <安部公房さんに聞く>：全集第29巻、228ページ：

『カンガルー・ノート』は、「全体がびっくり箱みたいに」「フランス料理から日本の
懐石まで全部入っているような」

3. 大江健三郎との対談：「構造が全部ぬけたテントの梁みたいな小説」（全集第29 巻、74ページ上段）

IV 安部公房の言語論

『安部公房文学の毒について～安部公房の読者のための解毒剤～』の一章「4. 言語論
といふ毒（問題下降の毒）」の最後に、安部公房の言語論をまとめて引用しましたの
で、ご覧下さい。

安部公房の言語論に関する発言はこれ以外にも全集のあちこちに多くありますが、ここでは小説論との関係で僅かに上記の参照に留めます。

V 逆進化論

この年1978年は、『密会』の刊行後で、逆進化の言葉が多い。とすると、『密会』とは、逆進化論、そして言語とエロス（性愛）、言語構造と小説構造、言語のデジタルとアナログ性を巡る小説といふ事になる。

1. 全集第26巻、143ページ：「密会」の安部公房氏
2. 全集第26巻、146ページ：構造主義的な思考形式：渡辺広士のインタビュー
3. 全集第26巻、193ページ：都市への回路：密会を巡って逆進化論が始まる。

以上



もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

- (1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）
- (2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）
- (*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

- (1) 安部公房の読者
- (2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
- (3) 年齢：不問
- (4) 性別：不問
- (5) 国籍：不問
- (6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
- (7) 提出文書のフォーマット：pdf
- (8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6。応募名：

- (1) 本名を名乗つてはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7。選考委員：

- (1) もぐら通信の全ての読者
- (2) 国内外の読者を問はない。

8。作品の公表：

- (1) 編集部には到着後都度読者に配信します
- (2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9。評価方法・評価基準：

- (1) 安部公房の読者としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
- (2) 採点の範囲は、1点から10点まで
- (3) 最終的な判定は、もぐら通信編集部及び発行人が各作品に下す

10。評価・選考のためのネット選考会月次開催

応募のあつた月のみ開催します。これは都度案内します

11。賞金：10万円

- (1) 一等賞：受賞者一名
- (2) 最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12。将来の展望：

- (1) ノーベル文学賞の日本円換算1億円以上にします
- (2) ゆくゆくは、詩部門・戯曲部門・写真部門・音楽部門を併設し、安部公房文学の性格に相応しいジャンル横断の総合的な文学賞にしたい

以上

巻頭詩
(33)

孤独より
其の六

安部公房

其の六

その淡い孤独のすかしぼり
飾り戸棚の古い置もの様に
感動もなく又忘れられる
嘆きを歌つた人々の想出

その淡い孤独のすかしぼり
悦びの為には沈黙し

悲しみの為には微笑んだ
嘆きを歌ふ祝祭の群像

その淡い孤独のすかしぼり
せめて慈しみの心から
そつとほこりを拭ひ取つてやる人は
もう居ないのだらうか



『都市の回路』論

(4)

岩田英哉

(2) エピグラフ：弱者への愛には、いつも殺意がこめられている――

以上のところまでを論じて以下の「安部公房位相史」が生まれたので、これを示して、この章の本題に入りたい。この図で、安部公房の作品に関する堆積性の歴史が明らかになったと思ふ。ここに名前の挙げられて層を成してある作品を読めば、安部公房の文学の全体像、即ち骨格を理解することができます。安部公房の箱根の仕事場にあつた（山口果林の名付けた）「ボーニーちゃん」といふわけです。これは、安部公房の作品を主軸にして、更に「安部公房の人生表」を併せて、安部公房文学の外観が得られるように整理したものです。

「ボーニーちゃん」のダウンロードは：<https://docdro.id/xkwbjZY>

		2024/11/27 09/26/2024		安部公房文学位相史 (作品を主軸にした)											
戦前 20年	P H A S E 3	存在の中 に国家・ 社会を 求めた	1970年	さまざまな父・飛ぶ男 (遺作)	写真	安部公房スタジオ	写真	戯曲・ 舞台	詩と写真 と舞台の 関係：安部 公房にと つての映 像とは、 動く写 真といふ ことであ つた。安 部公房に とつての 写真とは 即ち詩で ある。と いふこと は、同様 に安部公 房スタジオ (特に後 期5年)の 舞台も動 く写真(詩) であつた といふこ とになり ます。	1970年	67歳	カンガルー・ノート	1970年	60歳	方舟さくら丸
			54歳	密会							49歳	箱男			
戦前 20年	P H A S E 2	国家・ 社会の中 から存在 を求めた	1948年	燃えつきた地図	写真	戯曲・ 舞台	小説	映像	詩と 哲学	1948年	43歳	燃えつきた地図	1948年	40歳	他人の顔
			39歳	砂の女							39歳	砂の女			
戦前 20年	P H A S E 1	存在の中 での距離 の維持	1941年	終りし道の標へに (基礎理論に基づく実践第一作)	小説	小説	小説	小説	1941年	23歳	終りし道の標へに (基礎理論に基づく実践第一作)	1941年	20歳	詩と詩人 (意識と無意識)	
			18歳	問題下階に依る肯定の批判						18歳	問題下階に依る肯定の批判				
初期 安部 公房	P H A S E 0	幾何学 的・未分 化の都市 実存であ る	1925年	オルフェウスへのソネット (ライター・マリー ア・リルケ)	安部英吉 (写真)	エドガー・アラン・ポー 作品群/地下生活者の手 記 (Fストエフスキー)	世界演劇全集 (新潮社)	ツアラフストウラはかく語り (ニーチェ)	写真 戯曲	1925年	10代に 読み耽 つた作 品群				

初期安部公房	PHASE I	存在の中での隠微	41年から1947年	詩と詩人 (意識と無意識)					安部公房文学の基礎理論 (OS: Operating System)														
			18歳	問題下層に依る肯定の批判																			
初期安部公房	PHASE 0	子供・未分化の実存であった	幾何学的な都市奉天に住む	1925年から1940年	十代に読み耽った作品群	オルフェウスへのソネット (ライナー・マリア・リルケ)	安部残言 (写真)	エドガー・アラン・ポー 作品集/地下生活者の手記 (ドストエフスキー)	世界演劇全集 (新潮社)	ツアラフスタッフはかく語り (ニーチェ)													
					劇場	詩文	写真	小説	戯曲	哲学													
					都市	東京		奉天		東京													
					国家	大日本帝国		満洲帝国		大日本帝国													

この図を見てわかることは、初期安部公房のPHASE 0およびPHASE Iが、このインタビューで作家の回答してある地下の配管の設計の期間にあたつてゐることです。この上に確かに「都市への回路」と呼ぶことのできる『砂の女』『他人の顔』『燃えつきた地図』の、作家自らの云ふ「失踪三部作」は建つてゐる（前期20年）。同じことが後期20年についても云ふことができる。さて、この章の見出しである有名で辛辣な格言について、作家は次のやうに当時作品刊行時の『著者の言葉』で述べてゐます。

「地獄への旅行案内を書いてみた。べつに特殊な装備は必要としない。ただ入口だけは、まぎらわしいので、よく指示に従ってほしい。いったん中に入つてしまえば、あとは君が通いなれた道順にそっくりのはずである。地上では愛と殺意という二本立ての枝に別れていたものが、地獄では一つの球根に融けあつてゐるとしても、驚くことはないだろう。いま以上に迷つたりする気遣いはないのだから。」

(全集第26巻、141ページ)

ここで安部公房の念頭に置いてゐる作品と現実の構図は、前章で読み解いた地下と地上の世界、地下の上下水道の配管と地上の建物といふ投影関係または直喩関係といふ解説が、安部公房らしい言葉で語られてゐる。即ち、地上から地下への、この作品は「旅行案内」であるといふ。この場合の案内人は、いふまでもなく、冒頭で救急車のサイレンと共にさらわれて行方不明になる主人公の

妻です。得体の知れない病院といふ建築物の迷路中に跡を追つて彷徨ふことになる。しかし、かう描き始めた途端に地上と地下は二つのものではなく、「いつの間にか」（超越論）確かに「地上では愛と殺意という二本立ての枝に別れていたものが、地獄では一つの球根に融けあっている」ことに気づく。地上では愛と殺意といふ二項対立が、地下では一つの球根になつてゐる。球根とは、此処から二つに愛と殺意が地上に芽生えて成長し始める当のものでありますから、既に此の譬喩、それもめづらしいことに隠喩（メタファ）を使つて安部公房は超越論的な物事の順序を読者に示してゐます。これが、安部公房のいふ逆進化です。安部公房流の存在論の記号を用ひて言ひ換へれば、これが、安部公房のいふ《逆進化》である。ダーウィン流の進化論では弱肉強食でありますから、憎しみだけが増える。即ち、愛と憎悪の戦ひになる。欧米の場合の愛とは、これもいふまでもなく、「（キリスト教の）愛」といふ意味です。この（ ）の中がいつも省略されてゐるので、私たちにはEAWACキリスト教徒〔註1〕のいふ愛がいつも理解されないままで来てしまつた。この愛は、一神教といふ唯一絶対神の支配する世界の愛ですから、隣人愛といつても隣人同士で互いに愛し合ふことはできないのです。信じられないことですが、一度唯一絶対神Godを媒介者として通らなければ相手に到達しないといふ論理の上に成り立つ愛なのです〔註2〕。これは、あなたの肝に銘じてほしい。だから、常に愛を巡つて、争ひと戦争が起きる。人と人がGodの愛を奪ひ合ひ、取り合ふ。何故なら、それは自分の生死に関はり、死活問題になるのは、Godが唯一絶対の存在であるので、その愛もまた唯一絶対だからです。ですから、人間の世界のこととしては、政治の領域ではいつも此の位置を占めようとするEAWAC白人たちであるのは、その最悪のものを組織として発明して、これをパルタイと呼んで国家の上に置き、共産党と日本語で呼び、このイデオロギーを共産主義と呼んだのです。共産主義は、その歴史の示すところでは、必ずナチス以上の大量虐殺を行ふ。この同じものに別の名前を付けてグローバリズムと呼んでも同じことを必ずしますし、現にしてゐる。しかし、これは、私たちの、日本人の愛ではない。安部公房の愛に戻ります。言語が変はれば、愛もまた変はる。さう、安部公房の執念は「隣人思想の撲滅」であることを読者には思ひ出して欲しい。これが偽善の隣人思想の原因であり、医者として人間の全体性を大切にす安部公房は、これを悪（にく）み—憎みではない—撲滅を唱へた。この発言は三島由紀夫との対談『二十世紀の文学』に詳しい（全集第20巻、64ページ下段）。この隣人の撲滅を、安部公房は自分の文学の主題だとまでいつてゐる。この戦ひを、安部公房は「化け物退治」と呼んでゐるのは、下記にまとめる此のインタビューでの二つのパラドックスに関する二つ目のパラドックスについての発言に大いに関係してゐて（「怪物は弱者の偉大な化身」であるといふパラドックス）、同じ脈絡が1967年の二人の対談から続いて、三島由紀夫の死（1970年・昭和45年）以後も変はらないことを此のインタ

ビューで示してみます。従来の読者には奇矯な発言に見えるかもしれませんが、この『密会』といふ小説は、化け物退治の小説である [註3]。さうおもへば、登場人物は化け物ばかりではないか？如何？一神教のトポロジーはEAWACキリスト教徒の専売特許なのではなく、匱の一神教トポロジーは日本人の心の中にもあるのだと、安部公房は言つてゐるのです。このとき、日本人は古事記の本質・奥義を忘れ、イデオロギーと化した神武天皇を盲信する。何故ならば、神武「以前」を考へることをしないからです。これは知的怠惰です。こんなところに学問も真理も存在しない。わたしたちは何故何に於いて失敗したのかを真剣に反省すべきです。これに75年を先の戦争終了後にかかるべき年数でせうか？安部公房の親しき友、三島由紀夫は25年で痺れを切らして自ら死を選んで死んで行つた。

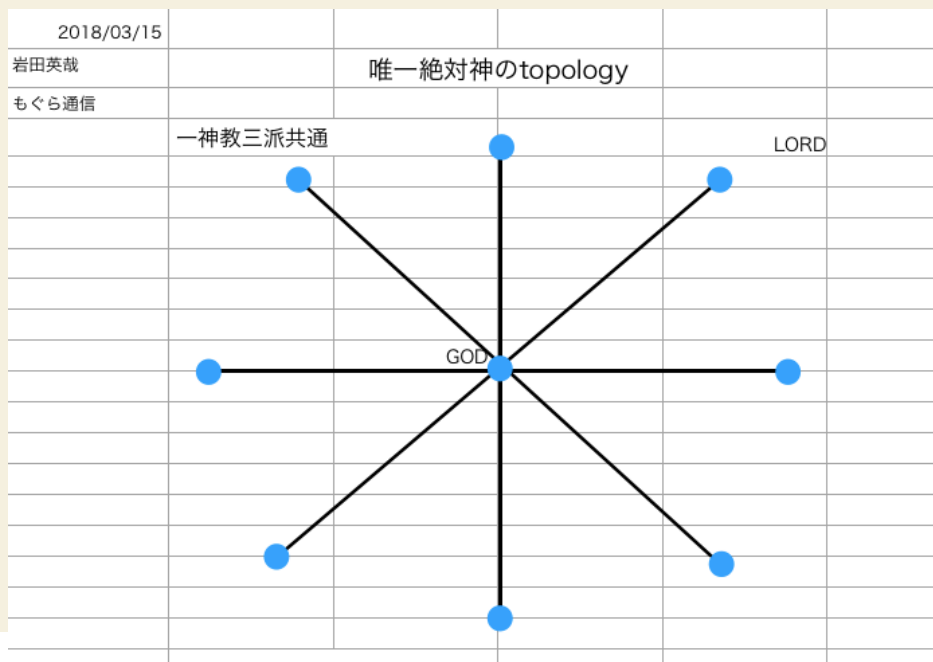
[註1]

近代欧米の国家による彼らのいふモダン・タイムスといふ近代といふ時代は、EAWACと呼ぶべき地域・人種・言語・キリスト教（スコラ哲学を含む）からなる複合体の産物であるといふことが、私の眼に明らかになりましたので、この言葉を、ほとんど記号化してありますが、造語しました。その意味は、Europa&Amerika=White peopel=Anglo-saxon=Christiansといふ意味です。個別に文脈によつて、EAWAC白人種とかEAWACキリスト教徒といふやうに使用します。

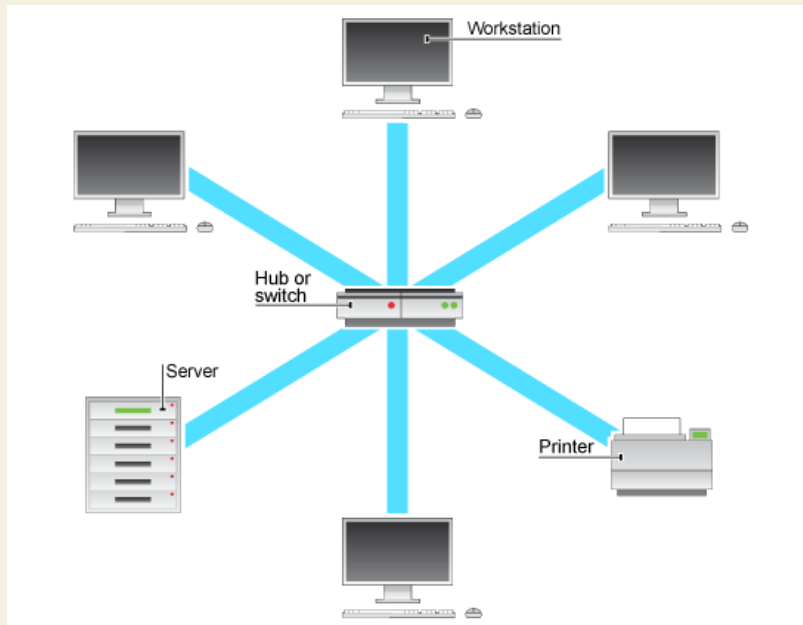
[註2]

「一神教といふ唯一絶対神の支配する世界の愛ですから、隣人愛といつても隣人同士で互いひに愛し合ふことはできないのです。信じられないことですが、一度唯一絶対神Godを媒介者として通らなければ相手に到達しないといふ論理の上に成り立つ愛なのです」といふ意味の、キリスト教の愛とは次のトポロジーによつて立つ愛であつて、私たちの愛とは全く異質です。

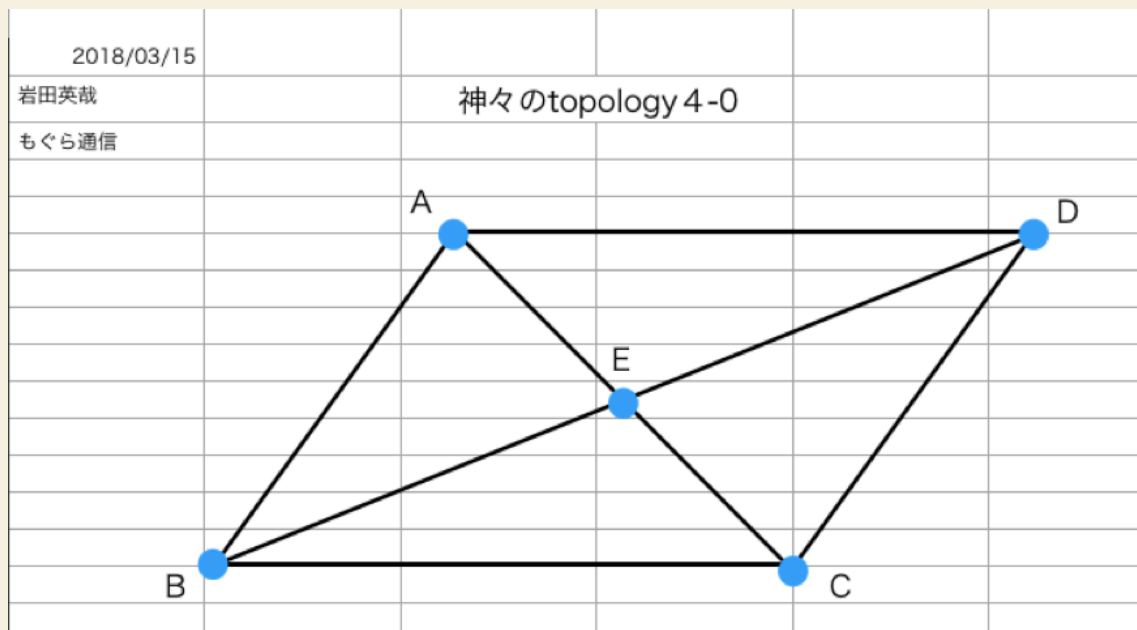
キリスト教の愛を意味するトポロジー：



ネットの接続形態としては、この形態です。



私たちの愛を意味するトポロジー：



[註3]

この化け物といふ言葉は、安部公房の唱へる仮説設定の文学を意味してゐます。『ぼくのSF観』（全集17巻、288ページ）にはM.W.シェリーの「フランケンシュタイン」と、スティー

ブンソンの「ジーキル博士とハイド氏」が挙げられてゐる。

また『SFマガジン』の座談会（『SFマガジン』1961年12月号）での安部公房の発言を読みますと、フランケンシュタインという映画のよさと、原作の小説の更なる良さを褒めていて、それは、ほかの安部公房のSF文学論を併せて読みますと、仮説設定の文学として優れている、即ちフランケンシュタインの場合だとその醜さが主人公を世の中から孤独にし、その悲しみをよく描いているからだというのが安部公房の考えです。この座談会は『座談会 映画/SFはSF/映画に何を期待できるか：『SFマガジン』（1961年12号）：安部公房、円谷英二等、（司会）福島正実』と題して、もぐら通信第30号に掲載されてゐます。

この座談会での安部公房の発言を読みますと、安部公房が映画に期待しているのは、高いポエジーと娯楽（その一つが『ゴジラ』のようなスペクタクルの要素です）が融合した映画であることがわかります。これは、そのまま安部公房の文学観でもあるでしょう。

この場合、安部公房の言う高いポエジーとは、人間がそのような異物に生まれた来たことの、そのような世間から疎（うと）んぜられる孤独な人間の悲しみだと言っても全く同じだと思われれます。〔註1〕

〔註1〕

「安部 ぼくはね、ひねくれない方をすると、『渚にて』よりも『ゴジラ』とかああいうもののほうが好きなんです。やっぱりほら、ああいう映画のおもしろさね。これはまあもちろん見せものですよ。だからそれはそれまでのものという限界はもちろんありますけれどもね、でも『フランケンシュタイン』とか『透明人間』ていうのがありましたね。あの当時は『透明人間』なら透明っていう映画の技術が見せ場で、原作以上に普及してますが、原作を読んでいると『透明人間』は非常にいい作品なんです。映画でも透明人間の苦しみがかかり出ていたけれども、原作はそれ以上にそこがよく書けていました。『フランケンシュタイン』はみにくい男の悩みを書いてあるんですよ、小説は。つまりあまりにも自分がみにくいためにだれからも愛されない。原作はあの当時は怪奇趣味の見せものとして、グロテスクなところを見せたんでしょうけれども、あれで悲しみを描くと芸術の世界になっていく。だから『渚にて』が悪いっていうんじゃないで、そういうところいきなり行くんじゃないルート、『ゴジラ』でもなんでもいい、ああいうスペクタクルを通じて、未知を描くっていうか、ああいうおもしろさを通じて何かが出てくるというルートもぼくはあると思うんです。」（『SFマガジン』（1961年12月号、「座談会 映画/SFはSF/映画に何を期待できるか」、123ページ）

こうしてみますと、キング・コングという映画も同じように、それはスペクタクルであり、同時にこの巨大な、しかし一人の美しい人間の女性を愛することのできる怪物の深い悲しみを描いた映画として、安部公房は褒めているのです。

そうして、間違いなく、安部公房の求めた映画との関係で、このように考えて参りますと、安部公房の小説の世界でのスペクタクル（見世物としての娯楽）は、透明人間であり（既にこの座談会でも同じ文脈で『透明人間』という映画に言及しています）、空を飛ぶ男であり、箱男

であり、顔であり、砂との戦いであり（或いは砂の穴であり）、迷路であり（『燃えつきた地図』『密会』）、方舟であり、地獄巡り（『S・カルマ氏の犯罪』『カンガルー・ノート』）だということが判ります。

これらはみな、安部公房の映画論から見た、安部公房の小説の世界のスペクタクルと高いポエジーの融合した作品群ということになります。

この場合、高いポエジーとは、既に深い悲しみと同義でありますから、あなたという安部公房の読者は、これらの作品のいづれにも、その高いポエジーを感じ、主人公やその外の登場人物の抱く其の悲しみを感じて、安部公房の読者になっているのだと思います。

かくして、安部公房の《逆進化》に依る愛とは、愛と憎しみといふ（地上での）対立概念を一つにした、其処から地上へと芽が出て来る「以前に」（超越論）地下に存在する球根である。さあ、だから旅行案内書を手引き書にして地下世界の地獄巡りをしようではないか。といふのが『密会』の企図するところです。確かに、愛と憎悪が一つに解け合つて球根になつてゐるのであれば、私たちは二項対立といふ病気の治療を受けるために、地下の配管の世界に降りて行つても迷ふことはない。振り子のやうにあつちへ振れ、次にこつちへ振れることがない。つまり、地上の世界「以前」の（超越論）配管といふ隙間だらけの闇の世界では迷ふことがない。地上には時間が流れ、地下には時間は存在しない。さて、安部公房が珍しく使つてゐる隠喩の此の球根とは一体なんでせうか。これは、やはり自然の生命の原型であり原姿だと私は、今此処で、解します。安部公房文学の、かくして、球根は上掲の「安部公房位相史」の上で探すと、PHASE 0とPHASE 1といふことになり、従ひ、共に「存在の中での隠棲」してゐた此の期間が時間を捨象した球根であり、そして此の期間に書いた二つの論文『問題下降に依る肯定の批判』および『詩と詩人（意識と無意識）』が、安部公房の作品としての球根といふことになります。私がこれまで此の球根をコンピュータのプログラムの呼称を転用して、やはり隠喩として、安部公房文学のO/S (Operating System)と呼んで来たことは間違いではなかつた。上掲「安部公房位相史」に名前を載せた作品を下の階層から順に読んで行くことが、安部公房の文学と人間を理解する最短最速の道です。安部公房の其の後の全作品は、このO/Sの上に書かれたアプリケーション・プログラムである。

さて、このやうに考へてくれば、作中人物の副院長の馬が何故「良い医者は良い患者」といふ意味も解ります。此処では確かに、強者（医者）と弱者（患者）の関係は融けて一つになつてゐる。このやうに考へてくれば、

弱者への愛には、いつも殺意がこめられている――

といふエピグラフも非常によくわかるやうになりました。これを変形させると、

強者からの愛には、いつも殺意がこめられてゐる といふことであり、また攻守所を変へると、

弱者からの愛にも、いつも殺意がこめられてゐる

といふことになり、

弱者への愛には、いつも愛だけがこめられてゐる

といふ文は成り立たなくなり、

弱者への愛には、いつも愛しかこめられてゐない

などといふ文をまでも作つてみると、此処には偽善しかないことがよくわかります。愛を巡つては、地上には偽善があるが、しかし地下には偽善の存在する余地はない。といふことになります。何故ならば「弱者からの愛にも、いつも殺意がこめられてゐる」からです。なんといふ世の中でせうか。

(2) 進化論のパラドックスと逆進化

このパラドックスのエピグラフの説明は、逆進化に関して、安部公房によれば次の二つのパラドックスを内包してゐます。

(1) 「“良き患者”が強者だ」といふパラドックス (“良き患者”といふパロディの生み出すパラドックス：多数派強者パラドックス)

(2) 「あくまでもルールの中に留まるという精神状態が、強者の資格になる」といふパラドックス (「怪物は弱者の偉大な化身」であるといふパラドックス)

此処で「特殊の中の普遍」こそが文学だといふ安部公房の言葉を思ひ出すことにしませう。安部公房は此の言葉を回答中に口にしてゐるわけではありませんが、論理は同じです。そして、地上に非常に通俗的に流行して来た少数者の権利などといふ馬鹿馬鹿しいことを安部公房は否定してゐるのが、この格言だといふことを読者は知るのであります。弱者への愛などといふものは本来はそもそも政治の問題ではないといふことです。このやうにかんがへれば、今の国会議事堂で罷り通つてゐる少数野党の意見を重んじるなどといふのは偽善であるといふこ

とが、文学の世界から政治の世界を眺めても、よく判ります。勿論同じ論理を振りかざす偽善者は与党内にもゐる。それに、さてしかし、そもそも民主主義の原理とは、最大多数の最大幸福ではなかつたのでせうか？つまり、此処での安部公房の主題は何かといへば、初期安部公房以来の主題である共産主義の根底にある一神教の二大論理、即ち終末思想と方舟思想（これは選民思想である）を依然として此処でも問題にし、解答を述べてゐるのです。即ち、問題は、

終末を目前にしてみながら、選ばれて方舟に乗ることができなかつた少数者を何だと考へるのか

といふことなのです。

この問題が、そのまま都市論の一面を占める都市と農村の問題であり、正統と異端の問題であることは、読者にはよくわかることと思ひます。以上をまとめて座標にすると次のやうになります。



①パラドックス1：

さて、上記(1)のパラドックス、即ち「”良き患者”が強者だ」といふパラドックス(”良き医者”ではなく反対に”良き患者”といふ立場を交換したパロディの生み出すパラドックス：多数派強者・弱者照射パラドックス)について、安部公房は次のように述べてみます。上図にいふ「良き医者」が実は「良き患者」と云ふ場合であつて(逆進化1)且つ第四象限の「良き患者」が逆行して第二象限の「良き医者」になつてゐる場合です(逆進化2)。逆進化2は、安部公房のいふ逆進化1に対して理論上あり得るもう一つの逆進化です。安部公房の議論は、この両極端の表裏の関係の間を行つたり来たりしてゐる。この両極端の往来と第三項として存在の存在する隙間と沈黙を求めることによつて両端を統合して全く異質の何かを此の変形によつて実現しようといふトポロジーの論理は、ほかのすべての場合にも共通してゐて、安部公房の読者にはもう十分に周知の通りです。よく意味のわからない言葉があつたならば、その言葉の両端に安部公房の存在論の記号《 》を置いて読むと、論旨(全体・一般)との関係で、特定の文脈(部分・特殊)が存在論として理解ができるとは、安部公房の読み方の、此処まで来るともはやテクニック・小さな技術、即ち要領です。この要領を御習得遊ばせ。さうして、安部公房が十代で完成した「新象徴主義」哲学[註4]と名づけた安部公房流の(世にいふ)「実存」哲学の底の深さと高さを御感得下さい。安部公房の文章を読むたびに、天才はゐるものだなと私は感嘆する。

[註4]

実存主義批判としてある此の安部公房の一生の哲学である価値論として語られる「新象徴主義哲学」とは次のやうなものです：

「僕が最初の実存哲学なるものを発見したのは、消えるけゴールやヤスパースやハイデッガーに於いてよりもむしろ、リルケとニーチェに於いてだった。しかし是は勿論実存主義とは名付け得ないかもしれない。とにかく僕は其處から出発した。そして四年間……僕の帰結は、不思議な事に、現代の実存哲学とは一寸異つた実存哲学だつた。僕の哲学(?)を無理に名づければ新象徴主義哲学(存在象徴主義)とでも言はうか、やはりオントロジーの上に立つ一種の実践主義だつた。存在象徴の創造的解釋、それが僕の意志する所だ。

それから、現代のいはいる(原文のママ)実存主義とは、僕はまるで無縁だ。一口に言つてあの下劣なコッケイさが実存主義なら僕は反実存主義だと言はれてもかまは無い。同じく「ハナ」と言つても、花と鼻との相違、いやそれ以上の相違が在ると思ふ。あれは單なる流行主義だ。」(『中壘肇宛書簡第10信』全集第1巻、270ページ上段)

安部公房独自の此の哲学は、『詩と詩人(意識と無意識)』に詳しい。(全集第1巻、104ページ)

また、この独自の哲学について、『中埜肇宛書簡 第1信』（全集第1巻、68ページ）に次のやうにある。

「僕は、今受動的自己証認に於ける、而してそれにより開示される所の人間の（主観的一観念以前）特殊性について、又その立場より考査される所の新價値論とも云ふべきものの体系、若しくは方法に思考を集中して居ます。そして晩秋、濡れた地面に降る雪の様に、後から後からと消えて行く思想を、愁しい気持で眺めやつて居ます。」

安部公房は、このパラドックスは「強者と弱者を、土俵の上の相撲の勝負のよように考えると、非常にわかりにくくなってしまふ、本質的に勝負のあり得ない取っ組みあいなんだよ。いま日本という国は、終戦後三十数年経って、そこらへんのリアリティが非常に薄らいでしまった。」と言つてゐる。三島由紀夫の死んだのは戦後25年の時点（1975年・昭和45年）でしたから、安部公房のいふ「終戦後三十数年経って」当時あつた日本の国家の姿は、三島由紀夫の死の原因を含んでゐるでせう。わたしたちは、この発言のいはむとするところは、二十一世紀の今の令和の時代も変はつてゐないのではないかと、まづは疑つてみることです。今のアメリカは、この二項対立の勝ち負けで混乱の極に至り、政治制度も経済も危殆に瀕してゐる。EAWAC白人種たちは二項対立を否定されると、組織としても個人としても、生きていけないことが判る。さて、そこで、私たちは日本人として日本語によつて生きてゐる人間として如何に生きるべきかといふことになるでせう。この「本質的に勝負のあり得ない取っ組みあい」をすることが、私たちのなすべきことだといふのが安部公房の回答です。

そして、この強者と弱者といふ論点の（人間の、といふよりも論点の、といつた方が理解がし易いのでせうからさう云ひますが）相剋をナチスの全体主義を例にとつて、次のやうに解説してゐる。

「たとえばファシズムの時代の、良き民衆という概念。健康は許され、不健康は不健康であるということによつて裁かれる。全体主義には必ず働く法則だね。しかしこの法則にはトリックがある。健康な強者であるということは、つまり体制により忠実な者であるに過ぎない。人生を競争として考えると、強者というのはほかを追い抜いていくものでしょう。しかし、体制の側から見れば、平均化され、体制の中に組み込まれやすい者がむしろ強者であつて、はみ出し者は弱者とみなされる。反体制的なものは片輪者としてあつかわれることになる。」

進化論の考へである「人生を競争として考えると、強者というのはほかを追い抜いていくものでしょう。」といふ発言を、そのまま詩にした詩が『箱男』に挿入された写真の下部にあるので引用します。この弱者は、本当に弱者なのだろうか？と疑つて、読んで欲しい。この詩は、廃棄物である自動車の廃車置き場の写真と一緒にあるものです。

「走りつづけたが
追いつけなかった人々の
匱のゴール
旗は振られ
審判も観客も
とうに引き揚げてしまった
夜の競技場」
(全集第24巻、112ページ)

この詩は、逆進化との関係で読むと、一層よく理解ができるのではないでせうか。些か機械的な解釈になり過ぎるといふ野暮を承知で解釈すれば、次のやうになるでせう。

進化論を盲信して「「走りつづけたが/追いつけなかった人々の」（だから走る必要などなかったのに）、だからそもそもゴールなどないのに在るなどと吹き込まれて走つて至つたゴールなど「匱のゴール」に決まつてゐる。だから、さういふあなたがゴールだと思つてゐたゴールに至つても「匱のゴール」なのだから、ゴール・インした時の（当然ながら）匱の「旗は振られ/審判も観客も/とうに引き揚げてしまった」、だから実はヨーイ・ドンといはれて走る前から、即ち劇場の幕の上がる「以前」からさうだつたのだよ。だから進化論の競争する昼間ではなく「夜の競技場」なのだよ、此処、箱男といふ孤独の歩いてゐる競技場とは、従ひ最初から実は競技場なのではなかつたのだよ。『方舟さくら丸』の最後には同じことが次のやうに書かれてゐる。あなたは、改めて此処を読むと、この最後の文章の最初の段落からして、なるほど「都市への回路」の出口が書かれてゐると実感するでせう。たとへ、この回路のアウトプット（出口）が、実はインプット（入口）であつたとしても。メビウスの環です。

「永い時間がかつた。途中、何度か眠つたようだ。しびれはおさまつたし、膝の感覚も戻つたが、合同庁舎の地下に辿り着いたときには、夜が明けていた。人の出入りが始まるのを待つて、外に出る。」

そして続く、小説の最後の第二段落。

「ひさしぶりに透明な日差しが、街を赤く染めあげている。北から魚河岸にむかう自転車の流れと、南から駅に向う通勤の急ぎ足とが交錯して、すでになりの賑わいだ。《活魚》〔引用者：勿論存在の魚—贗魚である〕の印のトラックが小旗をなびかせていた。旗には「人の命より 魚の命」と書いてある。別のトラックが信号待ちをしていた。その荷台には「俺が散って 桜が咲くころ 恋も咲くだろう」と書かれていた。合同市庁舎の黒いガラス張りの壁に向って、カメラを構えてみる。二十四ミリの広角レンズをつけて絞り込み、自分を入れて街の記念撮影をしようと思ったのだ。それにしても透明すぎた。日差しだけでなく、人間までが透けて見える。透けた人間の向こうは、やはり透明な街だ。ぼくもあんなふうに透明なのだろうか。顔のまえに手をひろげてみた。手を透かして街が見えた。振り返って見ても、やはり街は透き通っていた。街ぜんたいが生き生きと死んでいた。誰が生きのびられるのか、誰が生きのびるのか、ぼくはもう考えるのを止めることにした。」

この最後の段落から知られることを以下に記（し）るします。

(1) 《活魚》と安部公房の存在論の記号で両端の狭間にある活魚ですから、勿論存在の魚、即ち贗魚です。読みながら解るやうに文中に〔引用者〕註としました。

(2) 「旗には「人の命より 魚の命」と書いてある」この文句は、『無名詩集』の詩の書き方と同じく変はらぬ一文字開けで、たとへば「心」と題した詩には次のやうな用例がある（全集第1巻、224ページから225ページ）。

第一連：呼吸し 泳ぎ 重さも知らず

第二連：疲れや 涙や 恥じらひが

第三連：右手は左の 左手は右の

さうだ それも心の追憶だつた

第四連：唯 海だけは知つてゐる

「人の命より 魚の命」とはかうして、リルケに学んだ存在の形象である「海だけは知つてゐる」命なのであり、それが「魚の命」なのであり、それ故に「人の命より 魚の命」は尊いのであり、この尊さを隠して示すのが一文字分の余白の意味なのであり、この余白では『第四間水期』の水棲人間のやうに「呼吸し 泳」ぐことができ、体や物質の「重さも知らず」、この逆進化のせいで、あなたは「疲れや 涙や 恥じらひ」を感じず、何故ならあなたは強者では

なく逆進化した弱者であるから、さう、だから「右手は左の 左手は右の」、つまり右手は右手のでもなく左手は左手のでもない、互ひに互ひの正反対の手を求めても、「右手は左」（左手ではなく）を求め、「左手は右」（右手ではなく）求めるのは、即ち互ひに正反対の方向を求めるのは、この余白が夜であるからであり、夜には方向が存在しないからなのであり、それが「さうだ それも心の追憶だつた」といふ一見過去に見える存在に関する「追憶だつた」からであり、その追憶は心のする追憶であるか又は心の中で起きる追憶なのであり（さうだとしたら安部公房のいふ存在とは心のことだといふことになる）、それがさうだとは存在である「唯 海だけは知つてゐる」のだ、存在である海である余白だけが知つてゐるのだ〔註5〕。

このやうな夜である昼間に見る余白とは、「合同市庁舎の黒いガラス張りの壁」なのであり、「自分を入れて街の記念撮影をしようと思ったのだ。それにしても透明すぎた。」といふのは、それが「一見過去に見える存在に関する「追憶だつた」からであり、「自分を入れて街の記念撮影をしようと思ふ」のは存在になつた自分自身の在り方が再帰的な存在であり、存在とは再帰的・recursiveなものであるからであり、それ故に余白の夜である黒い壁に映る景色は「それにしても透明すぎた。日差しだけでなく、人間までが透けて見える。透けた人間の向こうは、やはり透明な街」なのである。だから、「街ぜんたいが生き生きと死んでいた。」とは、海の中に存在してゐる「街ぜんたいが生き生きと死んでいた」といふことなのであり（『水中都市』の最後の情景を想ひ出すとよい）、それ故にトラックといふ人が物となつて死んだ魚を運搬する自動車といふ移動体たる箱に立つ「旗には「人の命より 魚の命」と書いてある。」『方舟さくら丸』にも箱男、否、《箱男》は生きてゐる。小説『箱男』に挿入された写真で、ガラクタばかりの全財産を積んで車輪があるにも拘らず永遠に動かない自転車を引いて歩いてゐる乞食もまた透明な景色の中を永遠に移動し不動に歩いてゐると云ふあの姿を思ひ出して欲しい。なるほど、さうであるならば、

乞食の命より ガラクタの命
箱男の命より 贗魚の命
運搬者の命より 魚の命

といふわけです。

ところで、箱男は一体何を運搬してゐるのだ？

[註5]

『安部公房の奉天の窓の暗号を読み解く（後篇）』（もぐら通信第33号）にて詳細に、初期安部公房の詩を論じ、存在の余白の意味を証明しました。

さて、この余白を知らぬ強者（つわ）ものが強者だといふことになる。それ故に、自らが知らぬ余白の存在するが故に「弱者を哀れみながらもそれを殺したいという願望、つまり弱者を排除したい、強者だけが残るということなんだね。」と安部公房が続けていつてゐることが、ここまで読んで来ると、私たちは安心して「弱者への愛にはいつも、殺意がこめられている」といふエピグラフの引用をすることができる。強者の書くのは従ひ、詩ではなく常に標語・スローガンなのであり、集団といふ多数派に働きかけて次のやうな偽善の文句になる。

ガラクタの命より 乞食の命
鱧魚の命より 箱男の命
魚の命より 運搬者の命

要するに、

無機物と死んだ者の命より 有機物と生きてゐる人間の命

といふわけです。

安部公房も三島由紀夫も、これを人間の、日本人の偽善と呼んだことで対話での意見は一致してゐた（例：『二十世紀の文学』）。論の進め方は正反対の方向からではあつたが。「右手は左の 左手は右の」方向を三島由紀夫も求めてゐたとしたら（実際にさうであらう、さうでなければ全共闘との対話などしなかつた）、この作家もまた夜に生きてゐたに違ひない。夜の中で、深夜の書齋で確かに三島由紀夫は毎日執筆してゐた。

弱肉強食の進化論を量で考へて論を推し進めると次のやうな矛盾が起きると安部公房は以上に続けていつてゐる。

「しかし、強者というのは、リーグ戦でやっていけば、一人だけ残って、あとは全部弱者でしょう。強者が少なくて弱者が多い。」一体これは何だといふわけです。「右手は左の 左手は右の」方向を求めなくていいのか？といつてゐるのです。いふまでもなく、この手は、安部公房にとつてはリルケに学んだ手を求める手なのであり、個別安部公房にとつては左手は時間に関係のない存在

の手、右手は器用に実用性を発揮するので時間の中にある現存在の手といふことでした（例：『悪魔ドウベモオ』、第30巻の表表紙を返すと直ぐ裏の写真にある安部公房の左手）。このように、進化論とは論理が矛盾してしまふのであるからには、逆進化論で私たちは生きるべきなのではないのか？といふのが安部公房の提言です。即ち「良き医者は良き患者」であるべきなのではないのか？といふのです。これで、逆進化論のいふところがよくわかりました。即ち「強者は例外者ではない」。何故なら、この自己矛盾の中で、さうしてこれを社会関係といふのであるが、「社会関係の中では、必ず多数派が強者なんだ。」からです。結局、敗北者である弱者が実は強者であるといふ背理を、進化論も、また同類の近代の民主主義も、最初から内蔵してあるといふのが、安部公房の指摘なのであり、それ故の逆進化論であり、「良き医者は良き患者」でなければ、あなたの内心抱く「弱者への愛にはいつも、殺意がこめられてゐる」ことになりますよ、といつてゐるのです。これが、最大多数の最大幸福といふ意味なのであり、これが二十世紀の大衆社会、マス的大量の社会なのである。メディア・媒体と記録に関心の深かつた安部公房であれば、読者としては続けて、今のネットの情報大量社会もまた同様であつて、実はネット大衆の一人一人の内心は、最大多数の最大幸福なのであり、ネット上の言論にも同じ背理が最初からあるのだといふことを、かくして安部公房の進化論に関する矛盾の指摘に応じて指摘することにしませう。これはこのままネット・メディア論、私のいふこの矛盾から抜け出すためのネット・モナド論になります。これは『YouTube論』として既にあなたには届けてあります（Mole HoLe Letter B（10）：YouTube論）。

さて、さうなると、このネット言論の矛盾に気付かぬ保守も右翼も左翼も、極左・共産主義者も、主張する論理の上では、この矛盾指摘の視点から眺めれば、大した違ひはないといふことになります。なんてこつた。やはり、正反対の方向を求めなければ、保守は売国奴になり（実際にさうである）、右翼は左翼になり、極左・共産主義者は極右・全体主義者になるといふことです。実際に日本語の言論空間では、さうなつてゐる。誰か私に反対するものはゐないか？（ゐて欲しい）本題に戻ります。

たとへ敗北した大多数が弱者であるとしても、「社会関係の中では、必ず多数派が強者」なのであるからには、「強者は例外者ではない」のであり、従ひ、「良き患者」といふ概念がそのパロディとして出てくるわけだ。「良き患者」というのは、患者の中の強者だ。しかし、患者は本質的に弱者でしょう。にもかかわらず「良き患者」が強者だというパラドックス。読者が読み違える一番の落とし穴もそこにあるかもしれない。」その後の言葉が如何にも安部公房らしい。勿論、本人には辛辣にものをいはうといふつもりはない。ただユーモアと

笑ひの生まれる此のパラドックスといふ二項対立の隙間を二項の持つ矛盾として指摘をしてみるだけなのですから。あなたは共同体とは何か？を本当に考えたことがあるだろうか。

「共同体に復帰したい、共同体の中に逆らわずに引き返して、決められた場所の穴の形に自分を合わせたい、という衝動と、強者願望とは、以外に似通っているんだね。」

さう、正反対を求めて対抗均衡の均衡・バランスを崩して第三の道を超越論的に求めるのでなければ生きてゐることにはならぬのが、安部公房の読者であり、あなたもさうである以上は、ここでいふべきことは「唯 海だけは知つてゐる」わけですから、盲目的に「共同体に復帰したい、共同体の中に逆らわずに引き返して、決められた場所の穴の形に自分を合わせたい」などといふ人生は、あたしあ、お断りだね。ただ反権力を唱へればいいと盲信してゐるノータリンの藝術家たちも同じ穴のムジナであるので、騙されてはいけない。安部公房の説いてゐるのは、実は権力・powerとは何かといふことなのですから。民主主義といふ大衆社会の内蔵する此の二つのパラドックスに無知な政治家は、極右・全体主義者になるか、同類同列の極左・共産主義者になる。といふ論理を、ここで得ることができました。

といふことで、次に上記（２）のパラドックスをみてみませう。

②パラドックス２：「あくまでもルールの中に留まるという精神状態が、強者の資格になる」といふパラドックス（「怪物は弱者の偉大な化身」であるといふパラドックス）

（なんだか日本の近代国家のみならず欧米の発明した近代国家の持つパラドックスであるな。GAME CHANGEするためのルールがいよいよ明治維新以来150年経つて必要なのではないか？といふことは、明治維新「以前」に戻ることです。しかし、私はここで政治論をするつもりがないので、これは別途『日本一極国家論』で論じます。私たちは私たち「以前」、私「以前」に、即ち人間としての初心に戻つて、第二のパラドックスについて考へることを続けませう。ここには富国強者はなく、富者弱者もない。強者貧国も弱者富国もない）

（以下次号）

『文章読本』論
(11)
井上ひさし (2)

岩田英哉

10。1987・昭和62年：井上ひさし（53歳）昭和生

待て次号

私の本棚

(38)

荒巻義雄著『SFする思考』を読む

岩田英哉

待て次号

日本一極国家論（続篇）

GAME CHANGE理論

（2）

岩田英哉

以上米中二大覇権国家の持つ古いゲーム・ルールは、米中による対日封じ込め戦略であるのに対して、日本は国家としてパッチワークで都度直面する事態への対処をするだけの弥縫策国家であつたといふ情けない国である。私たち国民は、日本が情けない弥縫策国家といふ現状認識を確かに持たねばならない。さて、その認識の上に立つて、我らはこんな情けない国にして恥じない先人先輩を切つて捨てて、先人の恥をシノビつつ、しかし「耐え難きを耐え、忍びがたきを忍び」といふ昭和の時代精神の上に新しいルールを考へようといふのです。要するに、平成の時代は切つて捨てるのです。反省の時間も勿体無い。それほど時代の速度は急変してゐる。

徒然なるままに日暮らし、硯に向かひて心に映りゆくよしなしごとを思ひ、そこはかたなく此処まで書いてくると、これら碌でもない二大覇権国家の共通項が見つかつたので、次の定義とする。この定義の上に個別それぞれの覇権国家に対する処方（医者なら処方といふべきか）の異なつた戦略を統合的に（日本の「統合戦略」と以下呼ぶことにする）適用し、国家として執行する。アメリカと中国の共通性は、以下の通り。

アメリカと中国の共通性：

アメリカはアメリカ建国上の理由から、アメリカ一国の内部にしか通用しないアメリカ流のローカルな（地域的な・土着の）民主主義を世界中の他国諸国に押し付けて、これを及ぼさうとする。同様に、中国は自国の内部にしか通用しない支那流のローカルな（地域的な・土着の）華夷秩序を世界中の他国諸国に及ぼさうとする。共に内部秩序を内部秩序のままに、外部へと延長して、全ての外部を内部に取り込むために、経済力と軍事力を悪用してゐる。悪用とはつきりと書いたのは、これが将棋でいふならゲーム・プレイの上では悪手だからである。この悪手を良策と錯誤した国家が、これらの一つは古代国家である中国であり、もう一つは近代国家の鬼子であるアメリカである。

ここで先へと論を進めるために必要なもう一つの事実を明らかにしておきたい。近代西欧の鬼子であるアメリカの実体的姿の出所はどこか、それは何かといふことについての説明です。これを今まで「欧米・白人種・キリスト教徒」を英語にし、Europa-America=White people=Anglo-saxon=Christianと書

いて、これを略称して、必要な場合には、EAWAC・イーワックと何度か呼んできましたが、これを正式採用として、以後このEAWACを積極的に使ひたい。なぜならば、彼らのいふ近代といふ時代、チャップリンの名付けて製作した映画『モダン・タイムス』の近代といふ時代の正体がこれだからであり、他方、複合体とは考へずに、個別学問的の面から見ても、またEAWACの個別構成要素別に部分を見ても、近代といふ時代の全体を知ることができないからです。全体を知ることができなければ、学術の世界の人間たちは欧米人を含めて、自分達の生み出したモダン・タイムスの全体を説明することができないし、EAWACの個別構成要素別に部分を見ても、キリスト教徒はキリスト教の視点でしか語ることができず、外国文学研究者はアングロサクソン語族だといふ範囲でしかことをいふことができず、政治学者は政治学視点でのみ、経済学者は経済学視点でのみものをいひ、さらに悪いことに、人種視点では、白人種は白人種の歴史的優越性を失ひたくはないので人種差別はいけないといふ偽善を弄して自己経済的利益の増進を依然として図ることになるといふやうな現状の世界的体たらくとなつてゐるからです。従ひ、私たちが有色人種として心に銘記すべきは、

近代といふ時代はEAWAC複合体であるといふこと、EAWAC complexであるといふこと

このことなのです。彼らの発明した人間心理学によれば、このcomplexといふ複合体には、劣等のコンプレックスと優等のコンプレックスがあるので、場合に依じて私たちは彼らの国家心理と国民心理に照準を合はせて（武器使用・戦闘用語である）、有色人種に対して持つ劣等感と優等感を逆用し、善意を以て悪用することが大事である。私たちは私たち自身に打ち勝たねば、またもや負けること明らかである。私の目にはさう見える。即ち、

私たちがどんなに群盲象を撫でて来たかは、「近代の超克」を巡る先の戦争直後の関東と関西で開催された時宜にかなつた座談会での議論を読めば誠に明らかです（東京は『近代の超克』京都は『世界史的立場と日本』と題した）。群盲象を撫でるとは、文藝評論家も宗教学者も映画評論家もキリスト教神学者も西洋歴史学者も誰も彼も、手でモダン・タイムスの巨体を撫でてゐるだけで、それも専門各分野によつて用語が異なりますから、相互に理解し合ふことが、同じ日本人でありながら難しいといふ問題を東西いづれも抱へてゐるといふことです。しかし、当時の知識人には日本人としての道徳があつた。普遍的道徳などといふものはないのです。道徳を規準・クライテリアに考へたならば、普遍的道徳がないのである以上、国家を超える普遍的な価値といふものも存在しない。道徳を欠いた価値は、現状ご覧の通りの金儲けの経済的価値か他国支配

の政治的全体主義的価値（共産主義であるグローバリズム）か、といふことになつてしまつてゐる。この問題が、中西輝政・西尾幹二著『日本の「世界史的立場」を取り戻す』から引用すると、次の発言に要約されるのです。要するに、私が此の日本一極国家論でいひたいことは、政治家よ、日本の世界史的立場を明らかにせよといふことです。二つの「近代の超克」会議では、それができなかつた。それを今しようといふのです。以下、国際政治学者中西氏の発言です：

「ここで大東亜戦争がなぜ起こったかという私なりの理解を申し上げます、満洲事変、シナ事変、いろいろ個別の紛争があつたけれども、一貫していたのは明治以来、日本人の側に「文明的な自己主張としての”世界史のゲーム”をやろう」という意識のあつたことです。このことを忘れてはいけません。

では、なぜ「世界史的立場」について考えるのかと言えば、本当の意味での「世界史のゲーム」をやるときには、必ず文明論的な自己主張がなければいけないということです。『世界史的立場と日本』の対談者は、まさにそれをやろうとしていたのです。」（同書254ページ）

文明論的な自己主張のできない政治家は落第である。次の選挙で落とさせよう。としたら、次の選挙後に国会議事堂に議員が一人もみなくなつたら国民はどうしたら良いのかまでをよく考へておくことです。備へよ常に。

さて、中西氏は此の指摘の後で、再度「世界史のゲーム」を行ふに当たつて、私はEAWAC複合体に関して、次のことを申し添へておきたい。

EAWAC複合体は内部要因で戦争を始める：

EAWACは複合体なので、複合体からは、複合的な原因が幾つも発生する。戦争の起こる原因は一つではない。そして、現象的に何かが発生する場合には（例：世界戦争）、事件の起きる契機・切つ掛けと原因を分けて分析することです。事件の起きる契機と原因は異なる。往々にして私たちは、この分析の訓練を怠つてみると、二つを混同して判断を誤る。見よ、日本のマス・メディアの連中を。いい見本です。この悪い良い見本の真似をしてはなりません。ナヴァロのいふ「安全保障のジレンマ」は、この契機のことを言つてゐるので

以上EAWACについての私の意見をまとめると次のやうになります。これを以後の論のための里程標としたい。

- ①近代といふ時代はEAWAC複合体であるといふこと、EAWAC complexであるといふこと。西欧近代文明は、こんな野蛮なものが文明だとしてさういへちふのであれば、この文明はEAWAC複合体のつくつたものだといふこと。
- ②EAWAC複合体は内部要因で戦争を始める（例：軍事戦争、経済戦争、心理戦争、情報戦争（プロパガンダ）等々）。
- ③事件（例：世界戦争）の勃発の契機と原因は分けて考へること

上記③による認識は、ナヴァロのいふ「安全保障のジレンマ」を回避するために役立つ。この認識能力が、日本の政治家に求められる能力要件の一つである。その政治家に此の能力がなければ、勉強して努力すれば良いのであるから、勉強もしない努力もしない政治家は、勿論、次の選挙で落選させることである。これは哲学的な思考訓練を自らに課すといふことです。善意の政治家は首だ。

さて、米中による対日包囲網を打ち破り、二国それぞれの古いゲーム・ルールを捨てて日本が優位性ある地位を二国に対して確保するための新しいゲーム・ルールの創造をするために、アメリカの古いゲーム・ルールを、「賈物の国アメリカ」論に基づいて次の要約をしませう。

（2）古いゲーム・ルール2：アメリカのゲーム・ルール

古いゲーム・ルールの二番目にアメリカのゲーム・ルールを、文化・政治・経済の視点から、おさらひしませう。

- ①アメリカの文化は自国内にあつては「いつでも・どこでも・誰にでも」といふ特性を持つ文化であること。代表的なものが、コカコーラ・ジーンズ・ハンバーガー・クレジットカードなどといふ消費者のための大衆商品であること。これを世界中に及ぼすのが、アメリカ企業の商業的な世界戦略である。
- ②このアメリカ文化の大衆化・通俗化特性は政治の領域でも変はらぬこと。即ち、自国内にしか通用しないアメリカ流の民主主義（これを私はヨーロッパの鬼子の民主主義と呼んでゐるもの）を世界中の他国に軍事力を以て押し売りをしてゐること。
- ③この手前勝手なアメリカにしか通じない民主主義を、歴史も伝統も文化も異なる世界中の国に及ぼすのが、アメリカ政府の政治的な世界戦略である。これは、既に考察した通り、西部開拓を西海岸までしてしまひ、其の後の建国の理想を維持するために、建国の理想の喪失を恐れる恐怖心に発する、時期的にはウイルソン大統領の時（1913年以降）に始まつた本末転倒の、アメリカ流・ヨーロッパ鬼子民主主義を世界に広めるためといふ御題目で（これが本末

転倒の始まり)、世界を支配して自分のいふことを聞かせようといふのが、これまでの古いアメリカの政治的戦略の根底にある自己矛盾であること。これがアメリカの政治戦略の弱点である。この対外的な自己矛盾は国内の内政の歴史的自己矛盾の現れである(外交は内政の延長也)。従ひ、現在只今此の自国内の自己矛盾を極左・共産主義に叩かれて内政に内戦といふべき大きな混乱をきたしてゐる以上、そして外交は内政の延長である以上、その世界戦略は岐路に立つてゐて、アメリカが世界戦略を一旦縮小して自国の国境線まで後退することは世界の眼に自明の通り。パッキリ・アメリカの穴の意味とはこれです。

④経済的には、NYCのウォール街の国際金融資本が政治的世界戦略と平仄を合はせ、表裏一体となつて国際経済の支配を専ら恣(ほしい)ままにして来たが、政治が上記③であるならば、経済もまた同様になりつつある。9月に2本、10月初に一本アメリカ大手マスメディアにジョージ・ソロスの発表した中国からの投資の撤退の表明が、このウォール街の当面の、中国を中心にした世界経済支配からの縮退とアメリカ自国への退行を示してゐる。要するに中国を中心の軸とした世界戦略のサプライチェーンの座標はもはやないといふこと。これを破壊するのが、ジョージ・ソロスの背後にゐる国際金融資本の意図であること。この勢力を仮に、国際金融ユダヤ資本左翼と呼んでおきます。現下猖獗を極めてゐる国際金融グローバリストたちです。極左・共産主義者であるので、左翼と呼ぶことは正しい呼称でありませう。国境破壊左翼・国際金融資本主義です。共産主義であれ、金儲けになるならイデオロギーも良いといふ狂気の輩だ。

⑤この国際金融資本が強欲であるのは、最初はオランダ人が、次いでイギリス人がインド人をはじめとして有色人種におこなつたやうに、これは植民地主義であつて、日本人のやうに共存共栄などといふことは全く関心がなく、同一国・同一民族内に敵対と分裂の種を撒いて、その敵対する両者に金と武器を提供して二倍儲けるといふ、果たしてこれを戦略と呼ぶに値するものかは私は甚だしく疑ふが、いへといふならば、これは強欲の戦略である。これに対して私たち安部公房の読者のとる戦略は、弱食強肉の戦略であり、「弱者への愛にはいつも、殺意がこめられてゐる」逆進化戦略である。逆進化論とは超越論のことです。釈迦に説法でした。

(1) 新ゲーム・ルール1 (アメリカ帝国向け) : 一般論

このやうな文化・政治・経済と三拍子揃つて同じ方向を向いて、以上①から⑤の古いゲーム・ルールで今はこのやうに進んで来たので、先の戦争後の日本の文化・政治・経済も此の古いゲーム・ルールに従つて盲目的に進んで来たが、GAME CHANGE!、ここで過去の歴史を潔く捨てなければならないといふこと、これが私たちのゲーム・チェンジのスタート・ラインである。要するに、

日本を主軸にした未来最低100年のための新しいゲーム・ルールを日本固有の場所に動的均衡点として世界史の舞台の上に創造し確立し経営するといふことです。

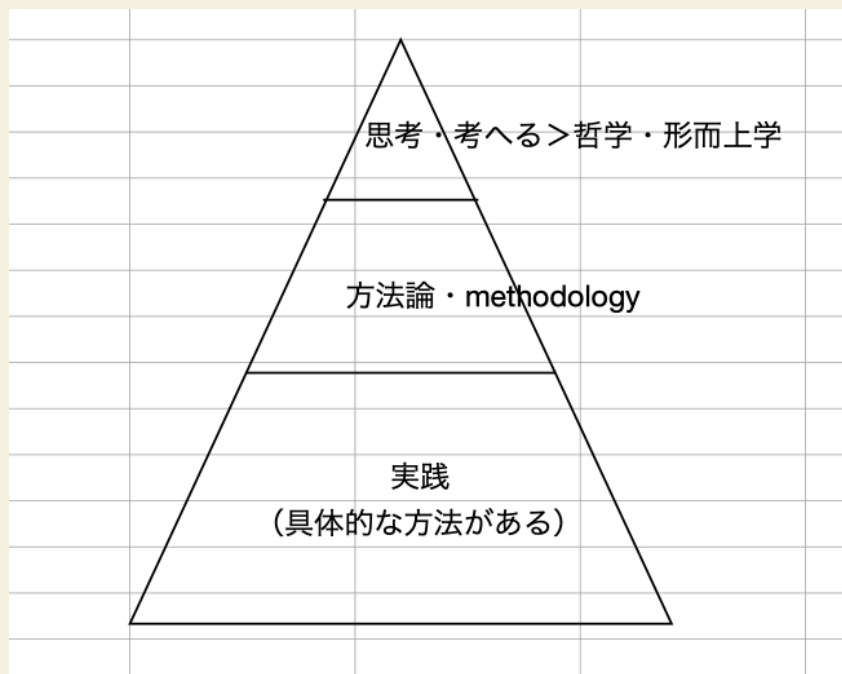
経済の新しいゲーム・ルールについては法律に即して日銀廃絶論として後述し、政治的な新しいゲーム・ルールについてはルールの一次分類をした上でこれも憲法改正問題・尖閣諸島問題・竹島問題その他の具体的な個別問題を列挙して、共に統合的な、即ち戦略的な統合的な解決策を後で提示します。文化的な問題の解決策？文化問題の解決策は一つしかない。それは日本語といふ言葉を、日々あなたが正しく使ふことです。国家の文化の問題解決策としては、日本が本当に文化国家であるならば、日本語の文法を日本人が思ひ出して、これを明（あき）らめ、世に確立し、学校教育で普及すること、この上に日本人自身が新しく憲法を起草することです。さうすれば、常識に基づいた、現行憲法改正も国民投票も必要としない解決策が生まれる。この解決策を後述します。頭の回転の悪い、気の弱い、勇気のない、できない理由ばかりを挙げて問題の解決を先延ばしにする政治家は、国民の方で置いてきぼりにした方がよい。Finalな、決定的な最終解決策には最短最速で到達しよう。

と、さて、ここまで書いて来て、ここで強調しなければならないのは逆転の発想の想起です。これは糸川英夫著『逆転の発想』（1974年）がベストセラーになつて当時大流行した言葉で、この昭和の言葉を再度思ひ出してもらひたい。糸川博士は日本のロケットの生みの親であり、その延長に宇宙探査衛星はやぶさの偉業が結実してゐます。この開拓者精神（これはアメリカ人に通じてゐる。アメリカ人となら此処で組むことができる。支那人には全くない精神）を思ひ出してもらひたい。それが逆転の発想であり、ゲーム・チェンジの発想です。即ち、

過去の全てのマイナスを全てこれからのプラスにする

といふ発想であり、その根底にある論理です。そのために私たちは何を、思考の階層（哲学・形而上学）も含めて、如何様に方法を論じ（方法論・メソドロジー）、具体的な実践として何をしなければならないか（政治的・経済的政策論）を考へなければなりません。繰り返し同じ図を再掲します。上記の「過去の全て」の過去をいつからにするかは、あなたが決める。あり得るのは、明治維新からの150年か先の敗戦後からの75年かいずれかであり、前者を捨てるなら後者もその捨象に含まれるので一石二鳥。私は京都遷都を主張してゐるので、この一石二鳥を採用したい。後述するやうに此の選択肢は五鳥、六鳥、七鳥の値があります。一度機に概念論としては三つの問題を同時に解決するの

です。超越論的解決策です。



逆転の発想であり、ゲーム・チェンジの発想の基礎となる論理を上図で確認した後で、これを再度次のやうに言ひ換へる。それは、

中華謹製武漢産ウイルスを、ゲーム・チェンジのために最大限に利用する……
【ゲーム・チェンジ・ルール1】

ことである。ここで、

日本の国の国家としての国家意志の発動が必至となる……【ゲーム・チェンジ・ルール2】

この意志の発動は国制に直接関はつてゐるので、この意志の発動に邪魔になり障害となる過去の遺制は過去のものとして捨てる。国制とは国家の体制、即ち民主主義と資本主義の総称です。この二つよりなる日本人の世の中を明治時代に福沢諭吉は社会と和訳して、これは私たちの日常語になつてゐる。この国制に於けるゲーム・チェンジの適用範囲であるその領域は、分立せる司法・行政・立法の三権はいふに及ばず、日本国憲法及び下位に従属する法令の全てを遺漏なく点検して、このゲーム・チェンジに不要なもの邪魔なもの余計なものは捨て、必要なものは採用し、または改正をし、新たに法律を制定して、根本的な変革（革命ではない）を迅速に行ふ。これらのゲーム・チェンジ項目とその実

際については後述する。

上記【ゲーム・チェンジ・ルール1】及び【ゲーム・チェンジ・ルール2】のゲーム・プレイ精神（今の若者には任天堂やソニーのお陰で此の用語で簡単に通用するだらう）の上に次の大綱といふべき【ゲーム・チェンジ・ルール3】を打ち立てる。それは、

国境を完璧に閉鎖し、国家意志が管理する……【ゲーム・チェンジ・ルール3】

といふことである。

国境を閉鎖すれば、後はどんな問題も全て国内問題となる。

この地球的規模のウイルスの蔓延を絶好機として政治的・経済的・文化的の国家といふ家屋・建屋の改修に存分に生かすことです。あるいは土台だけを残して家屋を立て直すのか、いや、調べてみたら土台が共産主義の白蟻（本当は赤蟻だと思ふが）に食ひ荒らされてこれでは明治以来の遺産を食ひ潰してしまつたので、土台から掘り起こして根底からやり直しだといふならさうする。

この【ゲーム・チェンジ・ルール3】の目的は、国境を完全に自国で制御・コントロールして、外交問題も含めて全ての問題を内政化して一気に解決を図る目的のためである。日本人のいふ管理には世上次の二つの意味の階層があるので、想起してほしい。

①管理1（類概念）

②管理2（種概念）

上記①はカタカナ語で、アメリカから輸入したので、マネジメントと私たちは呼んでゐる。上記②は明治時代に多分漢語を充てて造語をし、制御と呼んでゐる。英語由来のカタカナ語で、私たちはこれをコントロールと呼んでゐる。それ故に次の整理となる。

①管理1（類概念）：マネジメント：これは主に企業の経営に使はれる。

②管理2（種概念）：制御、コントロール：これは人と物と事に使はれる。

管理1と2の適用範囲の質に違ひのあることを弁へて管理といふ言葉を使へば、思考上の誤りは起きない。さて、その上で、

国境を完璧に閉鎖して、閉鎖した上で人・物・事の国境を超えた出入りを管理

1及び管理2するのです。人は説明不要でせう。物も説明不要でせう。事とは情報のコトです。あるいは、インテリジェンス、即ち諜報のコトであり、そのやうな知識のコトである。コトの管理は、論理層と物理層での通信即ち意思疎通の、即ち内外のコミュニケーションの管理です。この根本的な議論を日本の政府が徹底的に行ふのでない限り、国民は政府を信用することができないし、従ひ信用してはならない（例：私たち国民の個人情報に限度なく海外に流出する）。このゲーム・チェンジに伴つて必然的に私たち国民の性格もゲーム・チェンジのルールに従ふといふことである。即ち、私たち国民の政府と其の政治に対する役割は、

- ①権力執行機関に関する権力の濫用なきか否かの絶えざる監視をすること（お上のいふことは盲信するな。政府と官僚の判断の科学的根拠を尋ねよ）
- ②この監視情報を国民的規模で日本国の国境の内部でのみ、論理層も物理層でも、広く日本人の間でのみ共有すること（この体制を構築するためにも国境閉鎖・管理は一度必要）。
- ③上記①のための仕組みを論理層と物理層の二層に亘つて構築すること
- ④其のための国家的プラットフォームを構築すること。ここに霞ヶ関の官僚の利権構造を組み入れてはならない（例：天下り、その他）

さて、その上で、これは人間といふ生き物の永遠の課題であり問題であるが、上記①から④をなすことによつて、ジョージ・オーウエルの小説のやうな全体主義・独裁者を生み出さぬ仕組みを入れることである。これが一番難しい。民主主義を標榜してゐる政党が、今の自由民主党のやうに極左・共産主義者に乗つ取られるといふ事態の再発をゆるしてはならず、如何にこの種の再発防止策を講じるか、仕組みに入れるかといふ、その国民による監視体制をどうするかといふ反省を次の新しい今世紀の日本固有の政治制度にいかさねなければならない。今此処で想起したが、後述する憲法論と同様に、国家の体制も論理層のネットワークと同じく冗長性を持たせてredundantにするのが良いのではないかと考へる。詳細は安部公房の国家論として『安部公房とチョムスキー（12）：安部公房の國體改革案』（もぐら通信第93号）で論じた通りです。再度、論がそこに至つたところで、後掲します。

政治制度の再生は経済制度の再生です。そして、本質的な課題は、かう考へて来ると、やはり教育であると私には思はれる。公けの、国民の血税で経営される大学から小学校までの学校教育が果たして本当に必要なのかといふことを巡る本質論から徹底的に議論されなければならない。江戸時代以来の私塾については問題はない。私立大学への補助金の支給は、私立大学の学問の独立のた

めに、即座に打ち切るべきである。幕末明治維新前後に戻つて、頭を冷やして再度考へてみよう。福沢諭吉は上野で彰義隊と幕府軍の鉄砲の音の鳴り響く中で経済学原典講義を塾生と続けた。勿論今の慶應義塾が福沢諭吉の精神を正しく継承してゐるかはまた別の問題である。

さて、並べて論ずる順序は前後しますが、中華帝国向けの新ゲーム・ルール（これを「聖徳太子ルール」と名付ける）に次いで、アメリカ帝国向けの新ゲーム・ルールは（このルール名は熟考中）、上記の古い独善的なゲーム・ルールに対抗して、次のやうになる。

（3）新ゲーム・ルール1.1（アメリカ帝国向け）：個別論

①文化領域

アメリカ文化の大衆化・通俗化文化の無制限な流入を【ゲーム・チェンジ・ルール3】の適用によつて止めることを考へる。これは政治領域と経済領域への【ゲーム・チェンジ・ルール3】の適用、即ちJJS戦略の四角錐の底辺の一隅にアメリカを置いて政治的に積極的な役割を促すことによつてある程度管理1及び2をすることができる。アメリカ帝国の国家意志は海外からの、歴史的な由来からは本来は退行であるし、内国の政治に留まるといふことが国家特性であるので、その意志に逆らふことになるが、さうしてその国家特性に逆らつて金の力で海外戦略を強ひたのが国際金融資本であるといふ国家自己矛盾を内部に抱へてゐるアメリカであるので、しかし、その本来の国家意志を日本は発揮させないように働きかけるべきである。これが日本の戦略の要石の一つです。アメリカの国家特性に反する働きかけを同盟国としてするのでありますから、これは立派な外交交渉ですし、外交戦略といふことができます。対中国にも同じことをしたら良いのです。これが、かく考へれば、海外戦略の基本であるといふことになります。相手の嫌がること、相手の本来の国家特性と国家意志に反することを強ひること、これが日本の、対米のみならず対中への一般性のある国家外交戦略であるといふことです。今日本が草刈り場になつて、米中の代理戦争の戦場になつてゐるのは、日本が本来の国家特性と国家意志に反することを強ひられてゐることですから、このわたしたちの嫌だと思ふことの正反対を相手に強制する環境を作ることが、わたしたちの戦略といふことになる。

これが日本の国の外交交渉のあるべき姿で、当たり前といへば当たり前です。アメリカが尖閣有事の際にはアメリカが守つてくれるとほざいてぬか喜びしてゐるやうな総理大臣は日本国家の意志を代表してゐないので、国民は制度を改変するまたはその他の手段を弄して速やかに首にすることです。クビ。国民も老獺にならねばならぬのです。まあ、素直な国民性にとつては難しいかも知れないが、素直なゲーム・ルールもチェンジするといふことです。まあ、国民心

理といふものの上に国家心理が成立してゐることに鑑みれば、政治家の自己変革を求めることが先決と存ずる。政治家の皆さん、頑張つておくれ。さなくば、次の選挙で落とします。落とし前をつけてもらひますといふと、恫喝になるのであろうか？高倉健や菅原文太を国会議事堂に送り込むべし。昭和と云ふ時代精神を令和の私たちは、平成の30年間といふ惨憺たる時代の後で、平成の天皇陛下の悪口を居酒屋談義でいひつつ、今想起すべきなのです。などてすめらぎは訪中し給ひしか。ああ、親父はやつぱり偉かつた。。。禪を締めた男はどこへ行つたのだ？

イギリスの女王陛下の羨ましいのは、『女王陛下の007』といふ映画のことで、映画監督の誰かに『天皇陛下の009』といふサイボーグを駆使して中共のスパイやマネ虎・ハニ虎に籠絡された日本の悪徳政治家や悪徳官僚や悪徳経済人を次々と暗殺する映画を撮つてほしい。ついでにCIAのスパイとロシアのスパイも暗殺して欲しい。私たちに必要なのは竹中平蔵ではなく、長谷川平蔵である。鬼平だ。もちろんいふまでもないがMI6の殺し屋007もついでに殺してくれ。さうなれば、大ヒット間違ひなしだ。007シリーズの最後の映画は『天皇陛下と007』である。誰か脚本を書かないか？何しろ欧米諸国にとっては、日本の天皇陛下は神秘的存在である。Japanといふ名前はスーパー・ブランドである。知らぬは日本人ばかりなり。私は海外にゐてこれを実感しました。映画界の人間たちはどうせ皆左翼であらう。それなら天皇陛下を利用して金儲けをしてみろ。さうだ、金儲けのためならディズニーともハリウッドとも手を結ぶのである。さうして儲かつた金で圧力団体を結成して（団体の名目はなんでも良い）、日本の政治家に圧力を大いにかけるのである。天皇陛下には著作権法に則つてきちんと著作権料を、世界中から支払はせるのである。これで皇室も大金持ちになるぞ。天皇陛下万歳！さうだ、それだけ儲かつたら諸君たちも天皇陛下万歳！と叫ぶだらう。さうしたら、三島由紀夫も死なずに済んだのだ（三島由紀夫の霊よ、安らかなれ）。

大体イギリスの王室がヴィクトリア女王の時代に海賊のキャプテン・ドレイクに投資をして、256倍であつたか、海賊に投資をしてそんなリターンを濡れ手に泡の歴史を持つ強欲なイギリス王室の素晴らしき悪業の歴史的事実に比べたら、たかがハリウッド如きディズニー如き、なんといふことはないではないか。世界中から非難轟々の嵐が来たら、イギリスの王室にならひましたといつて、イギリスの王室をみならへといふのは日本の国民の意志を忠実に反映してゐるマス・メディアの強い強い、無知で蠅の如くに五月蠅さい希望であるといつて、これをイケシャアシャアと嘘をついてあしらふのが総理大臣と外務大臣の仕事である。これでまた総理大臣の能力要件の一つが明らかになつた。かういふ言語能力のない政治家を総理大臣や外務大臣にしてはならない。クビ。

②政治領域

(a)後述する現行憲法無効化案の実行とともに、日米軍事同盟を強化するために、何しろ米軍は日本から退行してゆき、撤退をアフガニスタン同様におこなふのであるから、核ミサイルの保有の理解と了解を取り付ける。如何に短日時で核ミサイルを日本は保有できるかといふ妙案は後述します。この交渉能力と意志のない政治家を総理大臣にしてはならない。これは政治家の、特に総理大臣と外務大臣のための、国民の持つ評価規準・クライテリアです。

(b)この戦略の上で、日米同盟を一層強化する。

(c)アメリカは日本に二発人類史上初の原爆を広島と長崎に落としたといふ国際法に違反するこの人類史上最大最悪の悪逆非道の大虐殺を歴史的事実として、外交交渉の強力なる武器として日本は活用する。マイナスをプラスにするのです。死者の力を借りなさい。靖国神社の英霊たちの力を借りるのです。死者が隣にゐると思つて動画の配信をしなさい。この我が国の経験を理解できぬ外務省の役人は首である。クビ。この国際法違反とともに、このことによつて自国も二発の核ミサイルをワシントンやニューヨークに日本は落とすのではないかといふ恐怖心をアメリカは抱いてゐるので、この恐怖を日本は決して否定してはならない。肯定する必要もない。否定も肯定もしないといふこと。これが肝心。これも日本の有する国家心理をめぐる対米に対する優越的な地位である。この心理的な日本の持つ国家優位性を徹底的に活用する。マイナスをプラスにするとはこのことである。

③経済領域

これは私のやうな素人の目にも明らか。

(a)中国から日本の企業は全面的に撤退する。

(b)それでも国家の方針に従はぬ企業は、大陸で野垂れ死する以外にはないと経団連の大企業の経営者に政府通告する。自衛隊はあなたのやうな企業を救済しないと断言するのだ。自衛隊員一人の命は、あなたの企業生命よりも重いと、福田赳夫といふ当時の総理大臣の使つたお得意の科白を使へば良い。実は日本の政治家には、このテロリストを無罪放免にして法外な身代金まで払つた事例に鑑みれば、憲法を遵守しようなどといふ気持ちはないのである。従ひ、緊急事態発生とならば、いつでも総理大臣は超法規的措置を講ずることができる。このやうな勇気と胆力のある政治家を総理大臣にしよう。

(c)撤退のシナリオを策定する。シナリオとは、私がゲーテといふドイツの文豪に教はつたところによれば、最悪と最善の両極端の場合を考へるといふことです（『ウイヘルム・マイスターの修業時代』にさう書いてあつた。何故なら主人公は俳優志望の修業の身の若者である。人生とはシナリオを描くことだ）

(d)東京都内の立派なビルの中の最上階にゐて安楽椅子に座つてゐる経団連の社長たちのうち、中国からの撤退に不賛成で決断をズルズルと伸ばしたがために大陸で社員が虐殺され、女は強姦され、子供も惨殺された場合には（必ずさ

うなる。先の戦争に至るまでの歴史的事実をみよ)、これらの経営者は皆死刑に処する。とはいつても実際にはさうは行かないので、私たちは『天皇陛下の009』といふ半ばプロパガンダ映画を必要とするのである。全ては有機的に結びついてゐる。ムスビの精神を發揮するのだ。古事記の冒頭を読みなさい。

日本の国家戦略を立案するためには、どうしても江藤淳のいふ「戦後の言論の閉鎖空間」を破壊しなければならない。此処で江藤淳の遺業を生かすのである。これは、安部公房の読者の最も得意とすることである。破壊よりもむしろ脱出が得意なのであるが、事態が此処まで悪化してゐるので、一人二人私たちが逃げ出しても、個人の人生上の問題の解決になつても、国家の人生(変な言ひ方だが)上の問題の根本的な解決にはならない。孫子のために、恥を偲んで「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び」、嫌々ながら(reluctantly)、国家のことを考へよう。

この問題の解決のための手段は、

支那といふ言葉を中国に関して正しく使用することである。

といふことは、国内でも此の支那といふ言葉を正しく使ふことです。

これは、アメリカに対して、我が国に原爆二発を落として無辜の市民を大量虐殺したといふ歴史的事実を交渉の脅しに無言のうちに使ふといふのと同等の対中国交渉上の、中華人民共和国といふ共産主義国家の建国当初から持つ自己矛盾を撃つための絶好の手段である。この弱点を突くのだ。かく見れば、共産主義国家の弱点は皆同じである(アメリカも共産主義国家です。この認識は大切)。従ひ、次の主題について論じなければならない。その次には、私たち安部公房の読者は壁の愛好者であるからして、ベルリンの壁が崩壊した後であつても執拗に、東京の壁、ワシントンの壁、北京の壁、台北の壁について語らなければならない。これらは皆東西の対立軸であり、今やグローバリズムと名を変へた国際金融資本・共産主義と、各国保守主義・国民国家との対立軸である。しかし、その前に、次の主題について論じます。

(4) 新ゲーム・ルール2 (中華帝国向け) : 一般論

①支那とは何か中国とは何か

(続く)

縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く (27)

5.19 クラとは何か

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてみるのが

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまところどこで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能碁呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2



青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

- 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
- 5.17 いほりとは何か
- 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてみるか
- 5.19 クラとは何か
- 5.22 「日本列島位相史」の最新版を
- 5.23 神武天皇のやまとことばの意味は何か
- 5.24 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史
- 5.25 日本人はどこから来たか

5.22 「日本列島位相史」の最新版を

「日本列島位相史」を改めました。前章で申し上げた白鳳期・天武天皇朝に十分に習合を果たした陰陽五行説の生命は今日に至るも健在ですので、矢印を白鳳期にとどめずに、現代にまで矢線を垂直に伸ばして立てました。「日本列島位相史 (v14)」のダウンロードを：<https://docdro.id/xtBEkAY>

5.23 神武天皇のやまとことばの名前の意味は何か

神武天皇の名前はいはれひこであり、いはれ彦といふ名前であれば、高天原の第一層に下の混沌から生まれて伸びてくる葦牙の如きものが第一層に接続してなるカミの名が、うましあしかびひこぢのカミであるのと同様に、さうして既述の通り、彦遅のカミが地上ではチ彦となるやうに、このいはれ彦も高天原の第一層への帰属を無言の内に前提にしてみて、第一層でのお名前は彦いはれとふ名であることが解ります。

最初の天皇ですから、何々のミコトではないかと思ふのですが、ヒトが大祓ひを受けてカミの格式を備へたミコトになるのではなく、直接いはれ彦といふ名前で高天原に接続してゐる格式の最も高いヒトであるといふ意味の此はヒコといふ名前なのでありませう。

さすれば、ヒ・トではなく、ヒ・コであるといふ名前の構成成分を仔細に見ると、前者はト・門であり、祝詞のト・門であるのに対して、後者はカノコの子であり、キノコの子であり、カコ・水手のコであるところをみますと、前者が二本の樹木の間の隙間をトと呼ぶやうに静止的な空間を意味してゐるのに対して、後者のコは、鹿島や奈良に棲む鹿のこのカノコのやうに生きて移動するものであり、船乗りのカコのやうにやはり海を移動するものであるといふ含意のあるもののやうです。

それでは、キノコは移動しないではないかといふと、私たち太古・古代の日本人の抱くキノコのイメージや姿は、移動する生き物といふことであつたのではないのでせうか。つまり、タケノコと同じで、垂直に、タケノコは子供から大人には3ヶ月ほどで、キノコも同様に地中に顔を出してから一日ほどで、真つ直ぐに地

上に成長するからです。これが私たち日本人の子・コに対してもつ形象であつた。とすれば、人の子もまた同じといふことがいへませう。子供は竹の子、木の子の子である。大人だけがいつまで経つても成長しない。それぢや、世の中は良くなならないわけである。

神武天皇は確かに、やまとことばで呼ばれたいはれヒコの名前にふさはしい。また、それではイハレヒコのイハレとは何かといへば、漢字では磐余といふ文字を充ててゐる。磐は磐座の磐で盤石であるといふ意味、国の礎石を置いた、または国の礎（いしづえ）となつたといふ意味でせう。余は、余剰の余であれば、やはり限界を超えて生まれる豊かな富を意味するでせう。他に変へ難い人のことを、余人を以て変へ難いといふ時の余です。余といふ文字と読みを一人称に使へば、さうすると、謙遜の意を含んだそのやうな私といふ意味に転ずると、余はそのやうに解することができるのであります。

しかし、以上の考察は漢字で表した漢字の意味の考察であつて、やまとことばの意味の考察ではない。やまとことばでイハレヒコのイハレとは、動詞でイハルといふ動詞のあつたことを考へさせられますが、関連する語彙を連想すれば、お祝ひのイハフ、「心身を清らかにして神に祈る」意の斎（いは）ふ（『新訂詳解古語』（佐藤定義編。昭和62年1月20日新訂第九版発行。明治書院）といふ意味もある、このイハといふ音義かも知れません。研究を要します。もし祝ふだとすれば、即位の奉祝と、イハレヒコによつて統治の始まるやまとの国の未来への祝ひの意味も重ねてゐるでせう。どうか榮えますよといふことです。

日本書紀によれば、やまとことばの本来の名前は、かみやまといはあれびこのすめらみことと（神日本磐余彦天皇）ですから、カミ・ヤマトはいはず、いはあれびこは上記の通りのイハレヒコとしての解釈と大きな差はないと考へますが、しかし、もしイハレヒコがイハアレヒコの音の詰まつた縮約の音であるならば、イハアレとは、イハとなつてアレといふ意味ですから、この祈願の思ひの籠つた名前となりますが、しかしその心は上記のことと変はりがありません。

私の注意を惹いたのは、日本書紀での諱（ただのみな）が、彦火火出見（ひこほほでみ）となつてゐることです。これはうましあしかびひこぢの神と同じで、彦の後に其のヒトのカミとしての性格を表す火火出見といふ名前が転倒して置かれてゐる。時間の存在する日本書紀の歴史の中でのミコトならば、海彦山彦となるわけですから、彦火火出見（ひこほほでみ）である以上、此処は古事記の超越論の時間の存在しない高天原の第一層に在（ゐま）しますカミでありますから、火火出見彦（ほほでみ・ひこ）ではなく、彦火火出見（ひこ・ほほでみ）となつてゐる。改めて此の名を眺めれば、神武天皇は、これも箱根の神山のカルデラのところで話をしましたやうに、高天原より降りてきて、最初に火山のカルデラを、それも活火山のカルデラを見るもののやうです。それも火火（ほほ）と繰り返し

てみますから、何度も繰り返し仕切りに炎を立ち上げる生きた山を見るといふことなのです。火山の噴火を見るといふことに何か深い人の心があつたのでありませう。それを見る勇気があつて初めて人はカミになつたのかも知れない。それ故に常に天孫の天降りはカルデラでなければならなかつた。（以上岩波文庫版『日本書紀（一）』の「日本書紀 巻第三」198ページを読んだ理解）

といふことは、これも既述のことですが、瓊瓊杵尊と神武天皇の値は同じ値であり、ヒトが異なつてみて別人であつても一向に構はないといふ、太古・古代の私たちの論理になります。襲名披露と同じ伝統的な論理です。ですから、最前、瓊瓊杵尊と神武天皇が同じだといふことの論理的な根拠があるので、この同一性は論理としてはこの先何があるかわからないので留保しておきたいと述べたことは良いことであつたのです。

とすれば、瓊瓊杵尊といふ職務名で高天原から箱根の山の一つ神山に天孫降臨した此のミコトが箱根神社の祭神になつてゐるのと同様に、彦火火出見（ひこほほでみ）といふ諡（おくりな）のついたミコトもカルデラの日の噴き出る場所に天下つた。ここが日向（ひむか）の地で、次の章でお話をする三浦半島に居を定めた三浦氏は、海の民でありますから遠く日向の国にまで海運での交流があつたことがわかりますので、二代目の瓊瓊杵尊が高千穂のカルデラの凹に降り下り、次いで神武天皇が其の地に入るといふ順序は自然のことに思はれます。やはり、海の民の一族たちを大勢引き連れてすめらみことの座標”の西征は行はれた。

この章の最後に以上のことを一覧性ある比較表に「神武天皇のやまとことばと漢文字のおくりな（諡）について」と題してまとめましたので、ご覧ください。これが私たちの遠津親の造語法で、もし同じ造語法を有する個別言語の文法を持つ民族があれば、それは私たち日本人の間違ひなく祖先であると断言することができます。其の際に同時に本居宣長の明らかにした日本語の文法の玉の緒論にかなつた言語かどうか重要な判定規準・クライテリアです。語彙の共有だけでは、私たちの祖先の証明にはなりません。ダウンロードは：<https://docdro.id/>

2021/12/05 ajya iwata		神武天皇のやまとことばと漢文字のおくりな（諡）について		
	古事記	高天原の階層		日本書紀
	諡（おくりな）			諡（ただのみな）
諡号	神武天皇	（第一層）	第一層	彦火火出見（ひこほほでみ）
漢字表記	神倭伊波禮臣古	第二層	第二層	神日本磐余彦天皇
やまとことばによる読み	かむやまといはれびこ（の・すめらみこと）	ヒコの造語上の位置はやまと（地上）の時間の中に存在する国の名前の順序	比較をすると「高天原にあるやまと」といふ名前が「かむやまと」の意味と判る	かむやまと・いはれびこ・の・すめらみこと
古事記と日本書紀の表現と表記の差異の理由の説明	「かむやまといはれびこ」といふ名前だけで、このヒトがスメラ・ミコトだといふことが自明であつたので日本書紀のやうに文字では表してゐない。それと併せて、やはり片葉・片葉で古事記のスメラ・ミコトは隠し（何故なら高天原の第一層のカミだから正体はお隠れになつてゐる）、日本書紀では表してゐる。古事記の方を今もし文字で表すならば、存在論の記号を使へば、「かむやまといはれびこ（の・すめらみこと）」といふことになるでせう。	古事記と日本書紀で神武天皇のやまとことばの名前の値が等価交換されてゐる。本来は古事記にあるべきスメラ・ミコトが日本書紀に置かれてゐるのは、古事記が古事記となり、日本書紀が日本書紀となつて記録の記と紀元の紀が等価交換されたのと同じ。天武天皇の御前でこの最初の書名の等価交換といふ大詔による富の創造の上に神武天皇の送りなも成り立つてゐる。それ故に古事記では同じ漢字を用ひてゐても（おくりな）とあり、日本書紀は（ただのみな）とある。おくりなは死者におくり、ただのみなは生者におくる。	「かむやまと・いはれびこ」にスメラ・ミコトがついてゐるのは、古事記の余白（高天原第一層のカミであるといふこと）と等価交換をして、片葉・片葉の論理で、古事記で余白と沈黙に隠し、日本書紀で漢字の文字には表したといふこと。即ち、大詔をしたといふことです。そして価値の等価交換によつて生まれる余剰としての富が生まれた。その富を余の漢字で表し、やまとことばで、イハアまたはイハシといふ祝言の祈願のことばとなつてゐる。	
造語法上の解説	カム一は、豊葦原瑞穂の国のトヨ一と同じ値と格を有する。トヨ一と付いたら高天原の第二層に、カム一と付いたら高天原の第一層に、その対象はヒトもモノもコトも所属する。			
典拠	朝日新聞社・朝日古典全書「古事記下」の「古事記 中巻」51ページ	岩波文庫版『日本書紀（一）』巻三、198ページ		

大事な表なので、縦にして文字を大きく再掲します。

もぐら

	2021/12/05, 12/06 ehya iwata	神武天皇のやまとことばと漢文字のおくりな (諡) について		
		(v2)	高天原の階層	日本書紀
		古事記		諡 (ただのみな)
		諡 (おくりな)		彦火火出見 (ひこほほでみ)
		神武天皇	第一層	神日本磐余彦天皇
		神倭伊波禮毘古	第二層	
漢字表記	かむやまといはれびこ (の・すめらみこと)	比較をすると「高天原にあるやまと」といふ名前が「かむやまと」の意味と判る		かむやまと・いはれびこ・の・すめらみこと
やまとことばによる読み				
古事記と日本書紀の表現と表裏の差異の理由の説明	「かむやまといはれびこ」といふ名前だけで、このヒトがスメラ・ミコトだといふことが自明であつたので日本書紀のやうに文字では表してゐない。それと併せて、やはり片葉・片葉で古事記のスメラ・ミコトは隠し (何故なら高天原の第一層のカミだから正体はお隠れになつてゐる)、日本書紀では表してゐる。古事記の方を今もし文字で表すならば、存在論の記号を使へば、「かむやまといはれびこ (の・すめらみこと)」といふことになるでせう。	古事記と日本書紀で神武天皇のやまとことばの名前の値が等価交換されてゐる。本来は古事記にあるべきスメラ・ミコトが日本書紀に置かれてゐるのは、古事記が古事記となり、日本書紀が日本書紀となつて記録の記と紀元の紀が等価交換されたのと同じ。天武天皇の御前での此の最初の書名の等価交換といふ大祓による富の創造の上に神武天皇の送りなりも成り立つてゐる。それ故に古事記では同じ漢字を用ひてゐても (おくりな) とあり、日本書紀は (ただのみな) とある。おくりなは死者におくり、ただのみなは生者におくる。	「かむやまと・いはれびこ」にスメラ・ミコトがついてゐるのは、古事記の余白 (高天原第一層のカミであるといふこと) と等価交換をして、片葉・片葉の論理で、古事記で余白と沈黙に隠し、日本書紀で漢字の文字には表したといふこと。即ち、大祓をしたといふことです。そして価値の等価交換によつて生まれる余剰としての富が生まれた。その富を余の漢字で表し、やまとことばで、イハアレまたはイハレといふ祝言の祈願のことばとなつてゐる。	
造語法上の解説	カム一は、豊葦原瑞穗の国のトヨ一と同じ値と格を有する。トヨ一と付いたら高天原の第二層に、カム一と付いたら高天原の第一層に、その対象はヒトもモノもコトも帰属する。			
典拠	朝日新聞社・朝日古典全書「古事記下」の「古事記中巻」51ページ			岩波文庫版『日本書紀(一)』巻三、198ページ

さて、三浦氏の前に房総半島と瀬戸内海の播磨国の海の民同士の交流・交易の話から始めます。

5.24 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史

あへて此の論の最後にこの章を設けたのは、日本の学者は海洋国家の人間であるといふのに、ヨーロッパやアメリカは大陸であるから大陸の理屈ばかりを学び、これは皆海のことを閑却した理屈だといふ自覚もなく、その理屈を日本にもつて帰つて来て、上は哲学から下は利便の物事についてまで、真理はこれだなどといふものだから、私たち国民はいい迷惑をして来たからである。それが、庶民にとつての此の150年余であつた。それを私たちの初心に戻つて考へようといふのです。初心とは思考のバランスをとることです。これが精神の健康といふ言葉の意味です。

此処でお伝えしたいことは、内陸交通を論ずるならば、海上交通も論ぜよといふことです。港港は皆接続して見て、その港のある国々の互ひの交流が太古・古代からあるのです。その一例を、大倭日高見国のある房総半島と播磨国の連絡してゐることの話をダイダラボッチの伝承の共有といふことから、もう一つは、三浦半島の太古・古代からの海の民三浦氏、すめらみことと一緒に南太平洋諸島の島々の島嶼ネットワーク連合国家の地域からやつて来て、海亀の産卵地と温暖で豊漁の場所であり鷗も白く青空を飛ぶ房総半島に上陸して、その後三浦半島に居を定めた其の三浦氏と、今の宮崎県、古名ひむか（日向）の国の三浦氏の交流の話をして、港港の道をよく考へて欲しいと思ふからです。この接続関係を思ひ出せば、今までは不明であつて謎であつたことで、説明のつくことが幾つも出てくるのではないであらうか。陸を掘れば陸のものしか出てこないが、海を掘れば海のものばかりが出てくる。私のこの確信は、北海道の東の港町の港の前に生まれ育つて、鯨漁の時期には日本中から毎年船が押し寄せて港に櫛比する、船の胴体が軋み合つギシギシと音を立ててゐる船の中に大漁旗が風に翩翩と翻へつてゐて、その旗に大きな文字で、土佐とか紀州とか書いてあつたのをみた驚きに依つてゐます。あんな遠いところから此処まで来るのかといふ驚きです。勿論、土佐も紀州もどこにあるのか私にはわからないが、遙か南の国であることは知つてゐる。私の生活圏の遙か彼方の港からその距離を海を渡つて楽々と（と私には見えた）北の果ての港まで、さうミナ・ト（門）までやつてくるのである。それでは鳥居は立つてゐるのか？と問へば立つてゐるのです。赤灯台・白灯台といふ名前で二本の柱が、両方の突堤から突き出てゐる其の先端に。さうして、私の直ぐ頭上を鷗たちが飛んでゐる。漁師たちから魚を餌を投げてもらひ、または捨てた魚を餌にして、そこにゐるのです。この場所はミナ・トといふ以外の言葉では呼びやうがない。

編集後記

- 巻頭詩（33）：孤独より 其の六：安部公房の語彙による安部公房の詩です。無名の人を歌った詩です。題名の「孤独より」がその心を表して、この題の元にある全ての詩の玉の緒になつてゐる。
- 『都市への回路』論（4）：段々と安部公房のいふ都市の意味が理解できるやうになつて来ました。新年早々の読書会には、この理解で臨むのが良いかと思ひます。
- 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（2）：この論も論ずれば論ずるほど面白い。次号を乞うご期待。
- 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（29）：5.22 「日本列島位相史」の最新版を/5.23 神武天皇のやまとことばの名前の意味は何か/5.20 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史：なかなか最後の章に辿り着かないのは、最後の章が私の故郷だからでせうか。縄文紀元の獣たちは故郷を目指したのでせうか。

差出人：

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町

「閉ざされた無限」

安部公房の広場

連絡先：eiya.iwata@gmail.com



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。